SHŌNEN CHAMPION COMICS

★★★★

ドールガン

DOLLGUN 6

出口竜正

秋田書店

9784253208161

ISBN4-253-20816-9

C9979 ¥390E (0)

1929979003906

雑誌 40092—12

秋田書店

定価：本体390円＋税

Lead-Gazzler

遺産の正体とは…!?

ドールガンの

ついに遺産が隠される地下最深部まで到達したアンドール。純太、そしてそこにはしかし、そこには驚くべき仕掛けが…!?

Whoooooooooo!

大怪盗ラプソディション

少年チャンピオン・コミックス
SHONEN CHAMPION COMICS

SHŌNEN
CHAMPION
COMICS

ドールガン

DOLLGUN

6

出口竜正

秋田書店

少年チャンピオン・コミックス
SHŌNEN CHAMPION COMICS

遺産の正体とは…!?

ドールガンの

ついに遺産が隠される地下最深部まで到達した純太、そしてアンドール。
しかし、そこには驚くべき仕掛けが…!?

WHOOOOOOOOO

秋田書店

大怪盗ラブアクション

少年チャンピオン・コミックス

6

ドールガン

DOLLGUN

出口竜正 でぐち りゅうせい

遺産争いがよくわかるドールガン人物相関図

前巻まで

奈狩野高校地下に眠っているドールガンの遺産を狙う純太とアンドール、秘密結社マリオネット、そして鬼平率いる警視庁。

学園祭当日、ライブ終了後の爆弾騒動で学園封鎖に成功したアンドールは地下最深部を目指す。その頃、ワルピーを倒した純太も単独で地下を進むが、ゴールドと鉢合わせしてしまう。そして…!?

CONTENTS

第44話◆遺産の封印 ——— 7
第45話◆甦る遺産 ——— 28
第46話◆怪銃ソールフS.A.A. ——— 47
第47話◆禁断の娘守歌 ——— 67
第48話◆死神の輪舞 ——— 87
第49話◆煌きの挑戦者 ——— 107
第50話◆名銃vs名刀 ——— 127
第51話◆運命の一撃 ——— 147
第52話◆怪盗誕生!! ——— 167

★この作品はフィクションであり、実在の個人・団体等にはいっさい関係ありません。

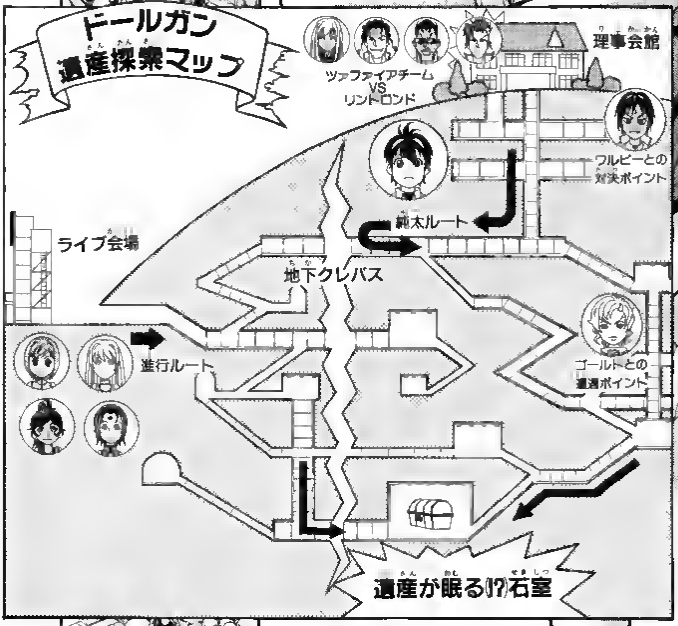
ついに私達
遺産の目前まで
やって来た！

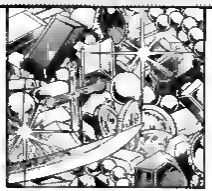
この岩の
むこうに…

第41話◆遺産の封印

父の謎を
秘めた…

ドールガンの
遺産が
眠っている!!!


トールガン
遺産探索マップ
理事会館
ツァファイアチーム
VS
リントロンド
フルビーとの
対決ポイント
純太ルート
ライブ会場
地下クレバス
進行ルート
ゴールドとの
遭遇ポイント
遺産が眠る!?石室



第44話
遺産の封印

――!
何イ?
ジェネラルドの
シグナルが
消えただと!?
ええい あいつら
何をやっている
…?
……
やだな
――っ!!
もう何度も
あったけど 銃を
突きつけられてるのは
ストレスだよッ……
ゴールド!
銃を下ろして
くれよ!
こう見えても
俺は日本男児…
そんなのなくたって
たとえ敵でも
女に襲いかかったり
しないぜ!
むう…
確かに
平和ボケの
日本の少年に
用心しすぎなのかもしれん…
だが
なんとなく貴様は
油断大敵な気がして
ならんのだ!
そういえば
襲いかかった事
あったっけ――!?
もしかして
ビニヨーに
襲えてるのか!?

……あ…
そういえば
ワルビーの奴が
気になる事
言ってたけど…
なんだ？

ゴールトも
お父さんを
捜してるのか？
な…!?

べ…別に
父を捜しての事
ではない！
ドールガンの
遺産を世界中に
隠したのは
我が父なのだ
父の仕掛けた罠
とてあろう！
父の足跡をたとる
事は必然なのだ

ワルビーめ
余計な事を
……！
ドールガンの
遺産に
父親の影…
俺達と同じ
だったんだな
同情か!?
バカめ
おまえと私は
敵同士！

軽蔑すべき
軟弱め…
フフ…
だが
まあ
嫌いではない
……
ドキ
わ…
あ…
意外――！
おまえ
笑うと
すげえ優しい感じだな
それで
いこうぜ！
だから
その銃を下ろして
くれると
助かるんだけど…
な
に
を～
笑ってなと
おらぬ！
私を愚弄する
奴は死ね！
わ――っ

――あっ…
弾切れ！
今だ
おとなしくしろッ！
しまった！
また
こいつら…
捕まえた
ゴールド！
おとなしくしろ！
くッ
私ともあろう者が
油断したッ
！
くッ

こなくそッ
ガッ…
く
この
ゴールド
取(と)れ
あ
装弾(そうだん)！

ぐわ
ぐ…
あ…
や…
やった…
ゴールド！
休戦だ
！
が
ぐ

いがみ合うより
まずは遺産を
見つけよう
お互いの
目的のために!
フン…
生意気な
だが現状
それがベストと
いうわけか!
よーし!
休戦で
キマリ!
ふう〜〜〜
これでやっと
気がなくなって
落ち着ける
じゃあ
行こうか
ハイっ?
さっさと
歩け!
あっ…
あれエ!?
全然
状況が
変わってない
もしかして休戦って
俺だけ――!?
…えっと…
この真ん中の
変石を動かせば
いいのか…な?

ゴゴゴゴゴ
え？
何？
この音…
きゃ…
ズ
う…後ろに扉が…閉まっちゃった……？
見て！
隣りに同じ部屋があるわ！
右側にもあるわよ
こ…
これは…いったい!?

岩盤の前に
3つの部屋…
そして
3つの要石
これって
押す組み合わせに
よって開くスイッチ
じゃないかしら？

いずれにせよ
この謎を
解けば――
前に進む事が
できる――!!
！
……え!?
ここって…
最深部？

フム…
両隣りにも同じ構造の部屋がある…
……
――ン？何か聞こえる…？
――ていうか閉じこめられちゃってるんだけど――!?
落ち着いてネーナ！
この声!?
ひかる！みんな――!!そこにいるのか!?
え…
純太――!!!
レティシア聞こえるか？――私だ
ゴールドー
ガーン
甚純太は休戦した
おまえ達も休戦して私の指示に従ってもらおう
大変ー純太が人質にとられちゃった――!!
こら――!!むこうの連中がカンチガイしてるしゃないか
…っていうかまえが一番勘違いしてるって知ってる――!?
まずはそちらの様子を教えてもらおうか

なるほど…
そちら側にも
3つの部屋が…
やはり
父の仕掛けに
間違いない
どういう
事!?
我々は今
封印された石室を
はさんで
向かい合っている
この封は
両側から同時に
鍵を開かないと
解けない――!
鍵となる黒石は
両側に3つずつ
正しい鍵はひとつずつ
そちらに4人
こちらに2人
振り分ければこちら側のひとつ以外
全ての鍵を押せる
ますこれで開くハズだ…
遺産への道が――!!

1
2
3
そ…
ギギギ
れ――っ…
ハア
ハア
これで…
どうか？
……
変化なし
……か

もうひとつの部屋か!?
ピシッ
ゴゴゴゴゴ
な…なんだ!?
ガシャン
きゃ
!
しまった!
時間差で仕掛けが動き出した!
壁か!
!
開いた!

純太(じゅんた)！

ひかる！
ハッ
――そうか！
むこうとこっち
1枚ずつ扉が
開いたんだ！
閉じこめられた――！
落ち着けでの
！
ひかる

くッ…
こいつら
こんな所まで…
あ…
純太…見て
え？
これは…

た…
宝箱(たからばこ)——!?
こ…これ…がドールガンの遺産(いさん)——!?
ふむ…いかにもな箱に入れたものだな…
さてどうやってアレを盗るか……?
!?
きゃあッ
!

フフ
きゃあァあ
久しぶりに
心ときめく人に
出会ったよ
ひかる――!!
おっと…
勘違いするなよ?
おまえの事しゃあない…!
キミだよ!
……少年
WHOOOO!!
なんなんだ
こいつは!!?

ドールガン
DOLLGUN

第45話 甦る遺産

くッ
閉め出されてしまったッ…
中では何が起きているの――!?
スカーレット…
おお…
あ…あれが噂のドールガンの遺産！
最初にGETした者に褒美があるって話だぜ
俺が！
――あバカ…
!?
ガン

ク…ク…
フハハハハ
安易に遺産を狙う者には罰が与えられるというが…
ゴールドの親父の仕掛け――
容赦が無いな
少年！
女を返してほしかったらおまえがあの宝を取ってくるんだ！
！
俺は少年が好きだ
だが
強い少年に限る!!
勇気を示し！キミの魅力をみせるんだ
――茜純太くん！――いや
最近の日本語の少年に対する正しい敬称では
純太きゅんと呼ぶべきか!!

純太！
くッ
ひかる！
ガチャ
ガッ
ザッ
ザッ
こちら
アントール出張班
大変な事に
なってきちゃいます

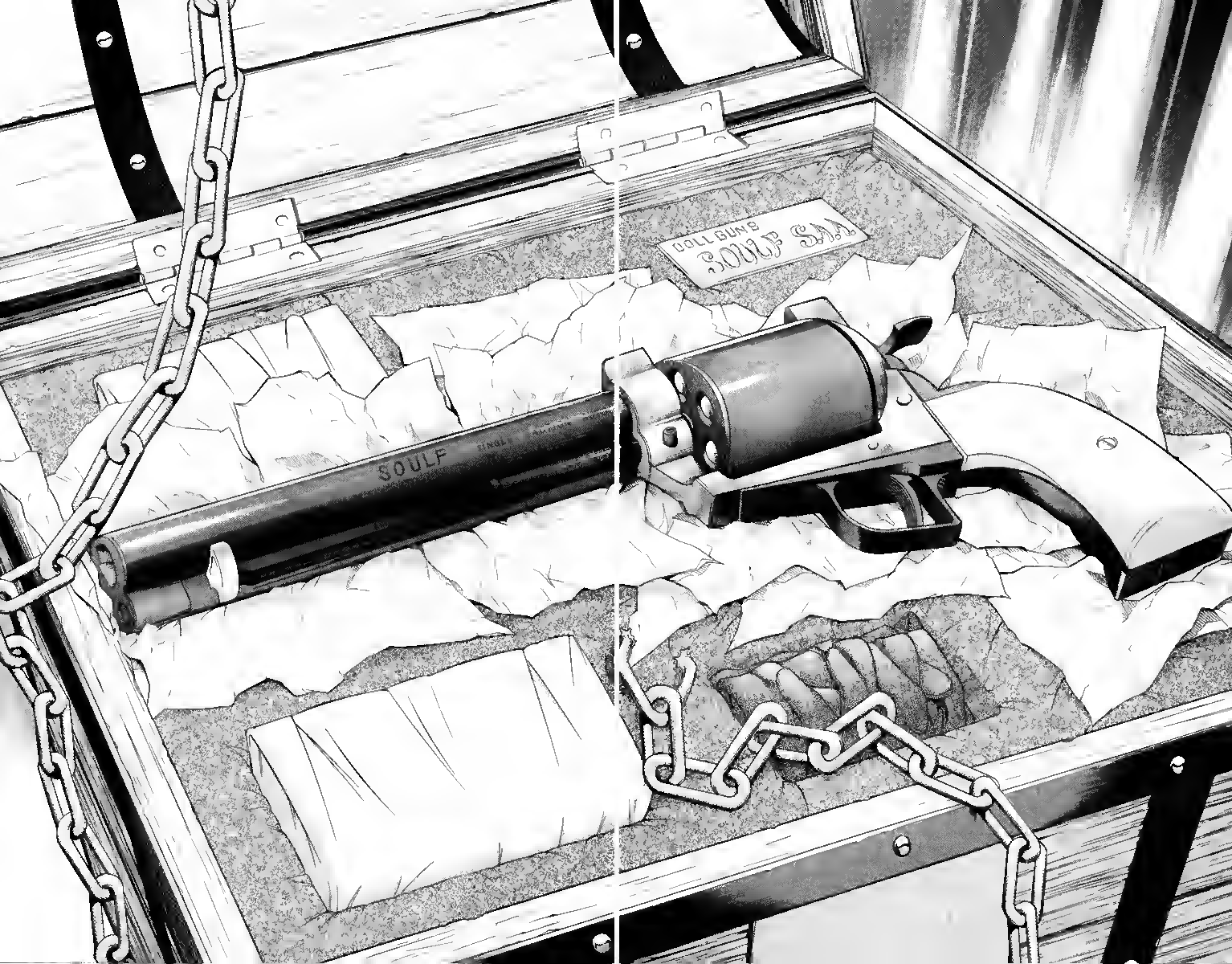
ライブ会場に続いて理事会館も爆破される事態
警察情報では事件の裏に国際犯罪組織の動きがある模様
果たしてアントールは無事なのでしょうか!?
!?
大変です! 警視と連絡がつきません
とこに行かれたんだあの方は!?
うるさい連中が増えたな
潮時か… 私は先に脱出だ
本当は見届けたかったのだがな
あの遺産が誰の手に落ちるかを…
ちっくしょう…わかったよ
取ってくりゃいいんだろ!!
!

待って純太…
心配ない！
待ってて
……
フフ…
いいぞ
！
わ？
間一髪
WHOOO！
罠にビクビクする少年の後ろ姿～～～
たまらないね♡

くッ…
こんなの
奥のタイミングさえ読めれば反射神経でなんとかなる…
もう少し…
必ず遺産を手に入れる…!!
そーだ
!
わ…
鍵は開けたよ純太きゅん♡
——さぁとっとと取ってくるんだ!
くっそ〜〜〜!
こんな奴…ドールガンさえ呼べれば…
何か…反射する物さえ…

――例えば
あの宝箱の
金具に……
俺の姿さえ
映れば――!!
ガッ
わッ
!
くッ
素晴らしい
反射神経
そして
素晴らしい
ヒップライン
あのお尻に
ボクのマグナム
WHOOO!
――到達……!!
ハア…
ハア…

ダメだ
金具は錆びている
早く遺産を持ってこい！
箱を開けるんだ!!
くッ
くそ…みすみすあんな奴らに遺産を渡してしまうのか…？
親さえあれば…
ギィィ
SOULFさえあればあんな奴ー
ガコッ…
……え？
な…なんだ？
これ……？
それは純太が手にした
初めてのドールガンの遺産たった…


DOLL GUN
SOULF SAA
SOULF

SOULF!
遺産とは
ドールガンの銃！
SOULFの実銃
の事だったんだ!!
さもなくば
この女――
WHOOO!
そうだ 少年
早くその銃を
持ってこい！
ソールフこそ
ドールガンの象徴
悪党王の証！
その銃を手にした
者がドールガンを
継げるのだ!!!
そして…
あの銃には
ドールガンの
秘密が
隠されて…

スッ
!?
なんだ…？
銃に…何か
書かれてる…
ズ
わわっ
重い！
これが…
本物の拳銃の
感触――
!
フフ…そうだ
懐かしい感触
だよ…
純太くん

今の声… ドールガン おまえか!?
！
な…!? 何か見えろ
ジェド?
ドールガン おまえの記憶…なのか!?
あ…
うあ…う
あああアあああ!!
フハハハハ… ボクは親しい友にふたつ名を贈る事にしているのさ
ドールガン
キミの新しい名前だよ

早くしないか少年！
ン？
!?
うおっ
ビュッ
バカな！弾が入ってたのか!?
女を前に出せ盾にするんだ!!

は!
ぎゃッ
な…
え!?
何!?
ク…
な…
なんだ!?
いったい
どうなってんだ
こりゃあ!?
ひゃ～
俺も
銃撃ちてえ～
ガスラー様
貸して～♪
あ…!?
バカ
貴様達の影は
奪われた!!

うっ…
ぎゃあああああ
アアアア

ふはははははは!!
純太(じゅんた)――!?

あ…あれ…
俺どうしたんだ？
ここはドコだ？
たしかソールフに触れた瞬間あいつの記憶が飛び込んできて…
そして――

大ピンチだね純太くん

ドールガン！

助けてあげるよ――さあ交代だ♪

あッ!?

何するッ!?
交代ってなんだよ？おい？

俺の代わりに何しようっていうんだ!?

こーゆー時のおまえはロクな事しないんだ！

ま…

てぇぇぇぇぇえ…

第46話 怪銃ソールフS.A.A.

くそう！
どうなってんだ!?
マリオネットの精兵が…
ガズラー様に逆らうなんてッ……!!
ええい！
反逆者は撃て
な…!?
何か起こったの!?
あの銃声の後
悪党達の仲間割れが始まった――
純太……
――一体!?
小娘！
おまえは人質
DAAAA！
来い
きゃあああ

ポッ
あ…!
貴様〜〜〜
何故逆らう?
何故そんな操られたようにバカげた行動をするNOO!
あ〜
可愛いBOY以外の男が
俺様の手を握る事は…
フゥ——
どはってん
怒髪天!!
きゃあ
まるで操影術ではないか〜〜!?
——しかしこいつらがもし操られてるとしたら——
クフフ…
おのしなヤツはもういい!

それにしても
やれやれ…
せっかくの
自分の体
もっと大事に
扱えないのかな
――だが
幾分小振りだが
やはり使い勝手は
良さそうだ…
この――
純太くんの
体は――!!
おい!
ドールガン
おまえ そこに…
俺の体の中に
いるんだろ!!?
とういう
事だッ
操影術使いである
トールガンの強靭な魂は
15年もの純太への憑依と
鏡を通した操作を
可能にした
そして今――
遂に手にした
懐かしい愛銃の
感覚が――
二人の関係に
新たな
奇跡を起こした
のである――

純太の魂とドールガンの魂が
入れ替わってしまったのだ!!!

くそ…ッ俺——
銃の中に閉じこめられた形かよッ!

ほう…
ガズラー
久しいな
なるほど
15年という月日は
キミの上にも
その足跡を刻んだ
ようだな
な…
何ッ!?
ガズラー
太ったな
ふ・じょ・く!
WHOOO!!
晃損なったよ
純太きゅん!
キミは俺様の
愛人たる資格を
失ったAAA!!!
なーにが
"きゅん"だ
この巻玉
コレステロール
が!
バギッ
ゴゴゴゴ
きゃ――っ

え…
くッ
あの野郎…
敵から切り離され…た!?
フフ…ちょっとそこに隠れてな♡
純太――
バカが!ムダ弾を撃ちおっTEEE奴のリボルバーは弾切れだ!
もういい撃ち落とせ!
おっと
フフ6連発だと?

ソールフの正体を――!!
ガズラー見せてやるよ…キミも知らない
SOULF
SINGLE ACTION AUTO
ゴッ
ッキャ
ミャキャー
ミャキャア
ガキッ!
ラアア!

拳機関銃（ファストマシンガン）
SOULF（ソールフ）
シングルアクション
オート――!!
SOULF

バカな
ベルト給弾リボルバーだと!?
ドドド

このォ…
喰らえ!!
!
暴発
WHOOO!!

くぅ…
かすっただけなのに…体が動かない！
地べたにはりつけられたみたいだ…一体!?
全員、操影術で掌握した！
純太くんを乗っ取ったこの形なら鏡も不要
操影術の弾数制限も無いー
超無敵!!
悪党王ドールガンの復活だ!!
こらガズラー
まいったと言え！
なに…を<<<!
暴発など
男なれば慣れッ子!!!
見よ！
スポッ!!
もごもご
ええっ!?

切り札が あらぬ トコから
怒髪天ンン!!!
隠し銃か…
フおっ
うわぁっ
リーオ
ビシィ
こ…
これは 操形術!
ドールガンなのか!?
いやおまえ…
どういう事だ!?
……キミ……
いやッ! あなたは…
そうだ!
ものわかりがイイな
え…!?
純太――

貴様……
ボクの純太くんに
不潔な色目を
使ってくれたな？
い…いや
それは…
男色 おおいに
結構!!!
お許し！
WHOOOOOO！
だが子供は
ダメだ！
え——っ!!!
これからは
ド——ンと
年上で
いけ
ひ——！
俺は今年
9月8日で
38歳になるッ
そんな俺より
年上といえば
40歳超の
おっさんに
なってしまう!!!
いやだ……！
やだやだ
や——!!
うわあっ
ポロッ!!
ああ…
この任務に
失敗したら
家の
ローンが

カワイイ
おじさま♡
WHOO!!?
うわあああ!!?

お許しください
ガスラー様…
うわ
あ…
ぎゃ——
あーはっは
うはは
あとで
素敵な彼を
紹介するよ
立派な
もみあけの
紳士をな

……
純太…
純太が…
トールガンって
——一体…?

ドカーン
！
ひかる！
大丈夫？
お姉ちゃん達
みんな
そろったな…
岩盤を爆破して
来るとは
さすがだな
スカーレット？
みんな
よく
ボクの遺産を求めて
こんな所まで
来てくれたね
その勇気に
ごほうびを
あげよう♡
キー
あ…
フフ…この
純太くんの体
なのは
ちょうど
都合がイイ…

教えてあげるよ…
ボクがキミ達の父親…ドールガンだ
…え？
パパだよ
おいで♡

ドールガン
DOLLGUN

パパ…
ですって？

何を言ってるの!?
スカーレット
あッ…！

おっと…！
気をつけなさいレティシア
ええっ!?
——そうだ…パパとは赤ちゃんの時に死に別れて——
私が知ってるのは、お顔に大きな傷があって、でも笑顔は優しくて——そして…
ポワン

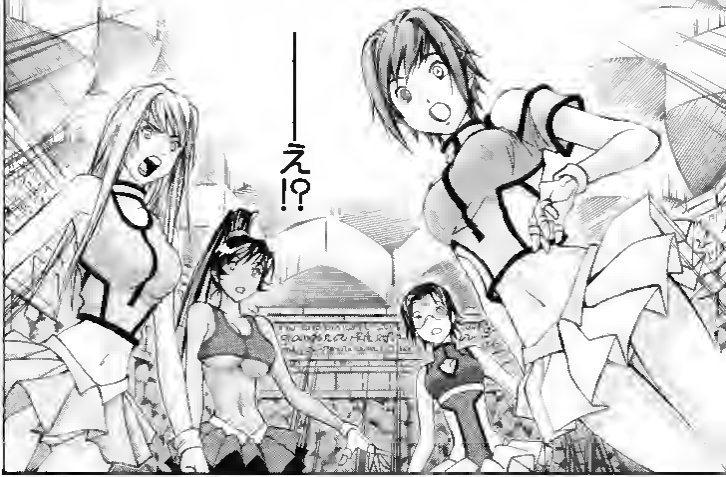
パパかもしれない…
第47話
禁断の娘守歌
きゃん

ちょ――っと
待ったぁ
――!!
俺の体で
ナニをする
気だ――!?
うっ…
パパって
無理ありすぎ
だろ――!?
くそ… 俺の言葉
聞こえないのかよ――!?
お父さん
だ――♡
な…
なんだぁ
――!?
ばぃ――ん♡
ちょっと…!
ネーナ 何を
考えて…
うわあ…
俺 自分の体を
離れてるのに
ネーナの…
ばぃん
肌の感触が
伝わって
くる――!!?
パパぁ♡
会いたかった
よ――!!
ばあああ
テュッティ
まで――!?
うわぁ
二人とも
どうしてこんな
勘違いを～～～!?
ネーナ
テュッティ
勘違いしないで
!

私のパパなんだから♡
ぱっし
！
そうか！これは撮影術だ ドールガンの力が俺の事を父親だと思い込ませているんだ
純太！
ひかる――!!
そうだ！ ひかるだけはどんな時も俺の事わかってくれる
純太はいつでも私のコト守ってくれた
ううん！私達の夢を叶えるために戦ってくれたのよ
うんうん！そうさ!!
あの…だから もうひとつだけお願い聞いてくれるかな
なんでも聞くぜ!!!

これからは〝お父さん〟と呼んでいい？
ぽよーーーん♡
テレテレ
ダメだこりゃ——!!

ちっくしょー
ドールガン…
みんなを操って何をさせるつもりだ——!?
——とりあえずなんな…
これからパパが言う事よ——く聞くんだ…
アンドールを…解散しなさい


――え!?

ここまでは
よくやった
だがキミ達が
これ以上遺産を
探すのは危険だ
ドールガンは
死んだんだ
パパの事は
忘れて
たった女のコに
戻りなさい
こいつ……

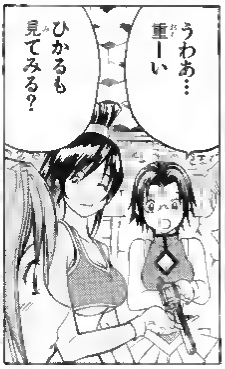
やっぱり
自分の過去を
隠し通そうと
しているー
そのために
俺の体を使って
みんなを言いくるめる
つもりなんだな!
ちくしょう!
みんなの想いを
無視して
勝手な事するな!
ドールガン
わかったねね
レティシア?
…あ…

ダメ――ッ!
パパを忘れるなんてできないわ!!
何ッ!?
スカーレットいったい…!?
う…
操影術が解けた…――だと!?
そういえば以前ひかるでも術が解けた事があった
意外な盲点だったかもしれないぞ…
ボクの娘には操影術が効きづらい…?
そうだ!
パパの遺産見せて!
あ
え…
しまった

！
そうか――ソールフを手放すと
魂の交換は解けるのか・
あ
あッ
戻った!!
みんな…
――ひかる
目を覚まして！
きゃ
あ…あれ…
純くん？
よかった！みんな元に戻ったんだ
純坊
コラ
え!?

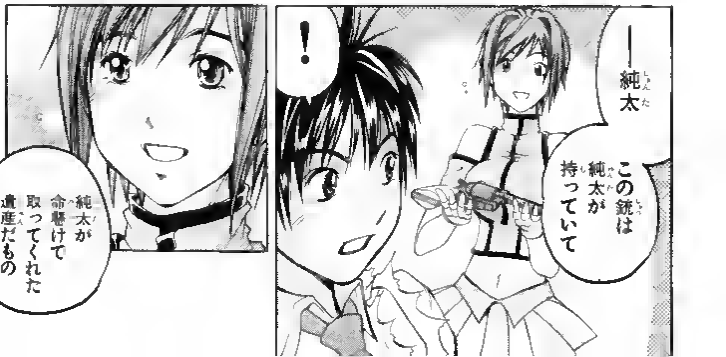
ひどいよ
パパのフリして
からかうなんて～
うわぁ違うっ！
アレは俺じゃなくて…
スカーレット？
言い訳なんて
見苦しくてよ
いいや つーか
このカッコをパパと
見間違える方が
どうかしてて…

何ですって
――!!?
うわ――
ごめんな
さ――い
ちくしょー
ドールガンの
不始末でなんで
俺が謝んなきゃ
なんねーんだぁ!?


――ねェ
レティシア
パパの銃
見せて！
！
うわあ…
重ーい
ひかるも
見てみる？

これが…
…お父さんの…
ドールガンの建造を
追う事で少しでも
お父さんの面影に
近付けたらと思ってた…
でも…
不思議

ほんの束の間
お父さんが本当に
そばにいた気が
する――


――純太
この銃は
純太が
持っていて
！
純太が
命懸けで
取ってくれた
遺産だもの

ひかるちゃん……！
くッ
コロン
――あ！
純太――これもその銃の…
え？
ゴゴゴ
フハハハハ――
復活!!
!?
まったく…世話の焼ける娘達だ！
キー
あ…っ
え…？
パパ…
わ――っしまった…
また奴に乗っ取られた――!!

操影術は心の刺激を与える事をきっかけに体の自由を奪う

確かに娘には効きづらいのだが…

強い刺激を与えれば支配力を強める事ができる！

女に縁い刺激を与える方法といえば…

これしかない！

パパは今からおまえ達を撫でる!!

！

まずはレティシアおまえからだ

なでなで

なでなで

ああっパパ…ダメっ

わ―っ待てドールガ…

貴様…自分の娘に何を―!!?

あっ
もみっ♡
俺の手を使ってみんなにイタズラするな
やぁ…
もみっ
ネーナ
テュッティ
ひかる――！
パパの言う事を聞きなさい
なぁあっ♡
やめ
うわぁあ
もゆん
おまえ達のパパなのだから――!!!
み…認めない…わ！
何？
パパは私だけのものなんだから♡
ちょっと効きすぎた……かな？
まぁよい！父娘仲良し総仕上げ――
あっ♡

あっ
パパの支配を受け入れるのだ――!!
あっ
はぁっ…あぁあぁ――
もうダメ
心の鼻血が止まらない――…

ふう…まったく
雄というのは
扱いが難しい…
どこの誰も
こんな姿を
してるかと思うと
同情するよ
パパはせめて
おまえ達に普通の
女の子になって欲しい
アンドールは
解散……
遺産探しは
これが最後だ！
……は…
い…
いや……！
!?
――私
やめないわ――
だって――
遺産を見つけた
から　お父さんに
近づけたんだもん
！

お父さんに
会いたい…
私 やっぱり
お父さんに
会いたかったんだ
……！
亡くなったパパが
危険な世界の住人
だった事を知って
から——
パパの
面影を追う事に
リスクがあるのは
承知のうえよ！
アンドールは
やめられない
普通の女のコと
危険な世界を繋ぐ
ただひとつの
道だから

ボクの撮影術は
人の心を撮れると
思っていたが
実の娘の
強い想いだけは
撮れないと
いうコトか…
——そう
来た道を真っすぐ
戻ったんだ
パパ…
また
会えるよね…
だが…
せめて
危険な場所
からは離れて
もらおう
あ…！
フフ…♡
また
会えるさ
今日の事は
もう覚えては
いないだろう
けどね
みんな…
そうだ
もしかしたら
ドールガンの
遺産って…
俺がこの父娘を
結びつけるための
道標なのかもしれない…

やれやれ…
なかなか
うまくいかん
ものだな
ドールガン
…
おまえ…
菩純太くん…
まさか
キミとはな
え…
!

言ったハズだ
遺産を手にすれば——俺の敵となると——
リンドロンド!!
——ハア?
誰だこのノッポの兄ちゃんは?
!?
ドールガン!
この人…リンドロンドだよっ!
知り合いでしょ!?
あ…おまえ…そういや会った事なかったっけ!?
闇世界最強の剣士と
ソールフを——渡せ!!
甦った悪党王!!
始まろうとしていた…
超人同士の斗い
が——!!

ドールガン
DOLLGUN

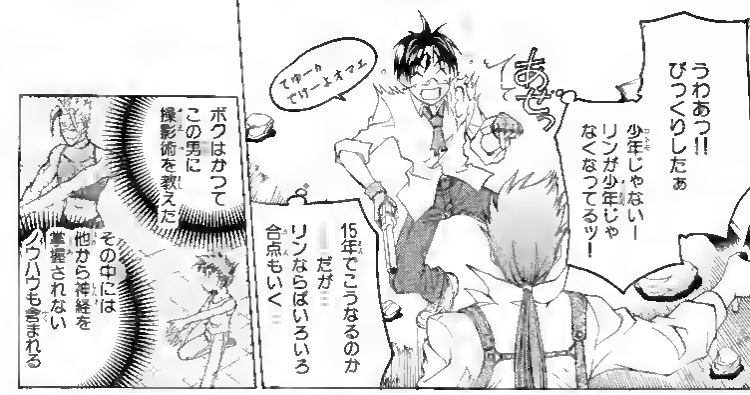
連中…
部下達を
追うように逃げる
ガズラーを見た
宝箱は空…
そして
ソールフは
キミの手の
中に——
信じ難い事
だが
キミがガズラーを
退けて 遺産を
奪い取ったという事
なのだろう…
——さて
そのソールフ

第48話 死神の輪舞

うわあッ！
もう目の前…
速い!!!
なるほど
団体のわりに
速い――
が！
！
今のボクに
敵はいない！
もらった!!
！

!
かわした！
見得を切るだけの事はある
平伏せよ！
!?
操影術は気の乱れた瞬間さえあれば心をつかみ神経を掌握する!!
だが弾丸を当てる必要はない
しちゃノアめ 着替えてるから切れないじゃない!?

バカな!?
操影術が効いてない!!
何故…!?
奴の刀…?
――あの刃紋は…!!
人形正宗
かつてボクがリンに渡した名刀を何故こいつが!?
…いや待てよ…
リン…!
リンドロンドなのか!!!


うわあっ!!
びっくりしたぁ
少年じゃないー
リンが少年じゃ
なくなってるッ!
あぢぅ
てゆーか
でけーよオマエ
15年でこうなるのか
だが…
リンならばいろいろ
合点もいく…
ボクはかつて
この男に
操影術を教えた
その中には
他から神経を
掌握されない
ノウハウも含まれる

操影術を
知る者に
操影術は
通じない!

それにしても…
でかくなったな
こいつ…
まさか
こいつと
こうして向き合う
日が来るとは…
80年代中頃
カスピ海上——
危険だ!

こんな船上パーティーに出てる場合じゃないぞ ドールガン

おまえの命を狙って——
死神と呼ばれる殺し屋——
サラルが潜入している！
サラル？

死神サラルはソ連に近づく資産家を狙う反ソ＝テロリストだ！
狙って逃がした事がないという凄腕だぞ
ボクはカスピ海油田の権益を狙っている
このパーティーで政府高官とのコネを作る事が必要なんだ
ドールガン様 高官がお呼びです

そりゃどうも…
KGBか 調子いい事言ってこいつらもこっちのしっぽを狙ってるクセに

死神となら
戦ってみたい!!
――だが
面白い……
フフ…
来たな!
ビィィィ
!
これは!?
いかん! この
鋼鉄線は人間の
肌を裂く!
むやみに動けば
首が落ちるぞ!
レギィィ
うわあ 切れた
――痛え…!
スッ
はッ!?
ぐ
ガ
ガガガ
ぎゃあああああ!

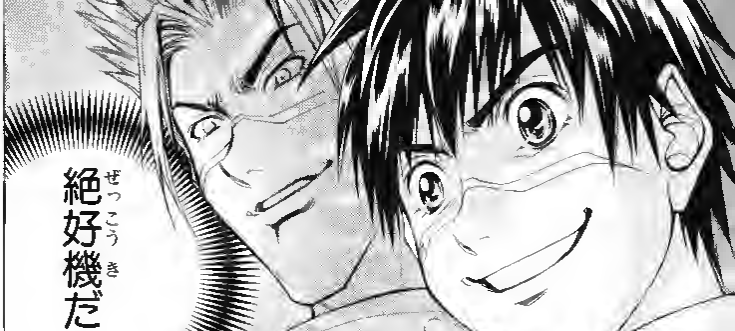
出たな
貴様が死神か
死神ザラル！
ほう……
――意外！
死神に似合わぬ
美しい翡翠色の
瞳――
だが
やり口は
えげつないな？
糸をゆるめてくれよ
少し動ければ
操影術が使えるん
だがな――
戯言を！
俺の故郷は下54に
踏みにしられた！
ソ連に味方する
悪党は――
死ねィ！
何ィ

リンドロンド
子供が!?
俺と戦ろうってのか!?
クッ…
この剣は!
カルタ征斗剣!
こんな子が!?
しかも完璧な剣スジー!?
ガタイの小ささも感じまってまるでスキが無い!
このォ

ドールガンは
ボクが守る
ハァ
くァッ
クク…
ククク
フハハハハハ
殺れ
この俺が
子供にしてやられるとは……

狼藉の代償なら
その翡翠色の
目の玉ひとつで
充分だ
何イ!?
生き恥を
さらせと言うか
ドールガン!
恥なものか
ボクの知る限り
リンと戦って
生きていたのは
キミが初めてだ
!
ボクはキミに
不覚をとり
キミはリンに
不覚を
とった――
こんな二人が
意地を張っても
仕方ない
ボク達は
少年ひとりの前に
形無しじゃないか
……
ひとつ
聞きたい事が
ある
――ボク
後日――
ボクと死神サラル～ジェドリは
その少年が
将来どんな
戦士に成長するのかと
語り合ったモノだ…

いや…
ドールガンを殺したのは貴様かい？
フフ…
そうだ！
ソールフはドールガンの首を奪った証となる
他の者…貴様などには渡せない…!!
なるほどな
まさか自分がこんな形でこいつと対峙するとはな…


絶好機だ！

純太くん
ドールガン？
ボクは以前
キミに
リンに
出会ったら
逃げろと言った
キミの
命の危機は
ボクのピンチでも
あるからさ…
―だが
キミは
死ぬかも
しれん…
!?

死神を斬った男と
斗ってみたい!!
わわっ…
なんて言い草だ
ドールガン！
…けど…

ドドドドド
ゴオオオオオ
なんだ!?
この俺が
リンドロントと互角に戦っている!!
くッ
抜け出すのに手間どった
何ッ!?
この闘いは!?

リンドロンド
マリオネット
第一の戦士に
あの若純太が
挑みかかっているだと
素人では
ない！
未熟に見えて
スキは無い
無謀に見えて
氷の気迫！
実に奇妙な
――達人だ!!!
だが…
越えられぬ
壁を
見せてやる
！

くッ
こいつ…こっちの接近を許さず
そのうえで一体当たり…
やはり体格差か
俺はかつて死神を斬った男と呼ばれた
――だが今は違う

唯一匹の
死神だ!!

く…ッ
！
しまった…
血が目に
勝負あった!!
ジェドに救われた
その命――
死神の称号を
受け継いだ
我が剣で断つ!!
火車の如く廻る
運命の輪舞
受け入れるが
よい!!

何イ
!!?
見えぬ目でかわしただと!?
——いや見える！
体も切れる——
何故!?
ドールガン——俺だ
純太くん!?

ソールフは絶対渡さない!
ひかるやみんなとドールガンをつなぐ父娘の絆だ!!
やっと追いつえるよーになったのよ
何ッツ!?先ほどとは違う…
俺も戦う!!
炎の気迫!!

第49話 煌きの挑戦者

俺は斗う！
みんなの絆を
守るために!!
ハッ!?
！
え…
純太？

…あれ
私達——
ここで何を?
今 何か
通っていった
ような…
いっけない
純坊
置いてきた!?
戻るわよ
うん!
今の声は?

やはり純太くんか！
ドール
ガン！
このコソ泥ー
俺の体を盗みやがって
わっ
俺もおまえもこんなトコで死ぬわけにいかないんだよ
俺がおまえの目になってやる!!!
なかなか強い…
気迫は一流…！
だが…
ここまで!!

バカな！
見えるのか!?
その瞬間——
二人の魂は
ひとつに
重なった
見える！
純大くんの
視覚が使えている！
動く！
ドールガンの
体術が俺にも
使える！
！

何ッ!?
攻撃の二手一手が
揺らぎを
伴っている…!
これは!!
ちぃ…

氷の見切り！
炎の攻め！
ふたつの異質な気迫が
不安定に折り重なって
先読みできない!!
これほどの戦士
だったとは!?
凄い……!!
純太くんの体でも
成長したリンを
攻め押す事が
できる!!
一心同体——
真に人が力を
合わせるとは
これほどのものなのか!!!
フフ
純太くん
キミも
今
素晴らしい
モノを
見ている
ハズだ!!
こ・これが
ドールガンの
視点

トールガンの目となる事て
純太は——
ドールガンが斗いの中で
視ているモノ
達人の視点を
体験する事になった
な…なんだ!?
リンドロンドの
姿が揺らいで
見える
斗いを究めれば
敵の行動予測が
思考ではなく
"見える"ようになる
トールガン
"揺らぎ"として
見えているのは
リンドロントの
次の一手
強い敵の
"揺らぎ"は
小さく
強い敵は
大きく複雑な
無数の揺らぎ
"未来予測"を
見せる

！
そう これこそが
鬼平がキミに教えた
――影視――の
究極形さ!!
敵の強さが
目に見える――!!
コレが
達人の視ている世界
なんだ!!!
くぅ…ッ
なんという
戦いだ…
酉純太…
互角どころか
あの
リンドロンドを
押している!
だが
奴らの戦いに
関わってもいられない
――さて

リントロンド
ドールガンを殺したと言ったな!
何故だ!?
言ったハズだ
俺は5万人が殺されたカルダ島事件の生き残り
犯人のドールガンを恨むのは当然だろう?

ウソたッ！
ドールガンは
そんな事をする
奴じゃない
余計な
せんさくは
ガイン
この剣を
見極めてから
言え!!
キュリーン
なんて
奴だッ！
さっきより
巨大な揺らぎ
攻撃か!!
ザザザ!!
まだ
底知れない
力を隠して
いるッ！
リン…
こいつ！

純太くん
超接近戦で
勝負だ
！
ソールフの薬室に
一発だけ弾丸を
残してある…！
SOULF
S.N.G. ACTION AUTO
！
達人もかわせない
不意打ちを
決めてあげるよ
行くぞ！
暑く思うな
リン…おまえは
全てを知っている
口止めだ！

懐に
飛び込んできただと!?
何!?
!
リンドロンドの〝揺らぎ〟が止まった――!
見える…これが達人の一段のスキ…!!
もらったッ
ボン

何イィ!!
刀の柄で止めた!?
底知れぬ戦士である事を
出会った時から感じていた
必ず一発残していると思っていた
うわァあああぁあ

揺らぎが
視野に入りきらない!!
動きが
見えるのに
かわせない!!

しまった！
ソールフを盾にしたか！
は…ッ
助かっ…
え？
！
ギュオオオオ
わ…あッ
あぁアぁああ

な…
なッ…
なんだ!?
銃身を切られた
ソールフは感触が変わり
銃を手放したと
同じ効果を
純太にもたらした!!
ドールガンが
消えた!
今一度…
我が剣筋を
読んでみせよ…
はッ!
貴様の力
見極めてくれる!
!

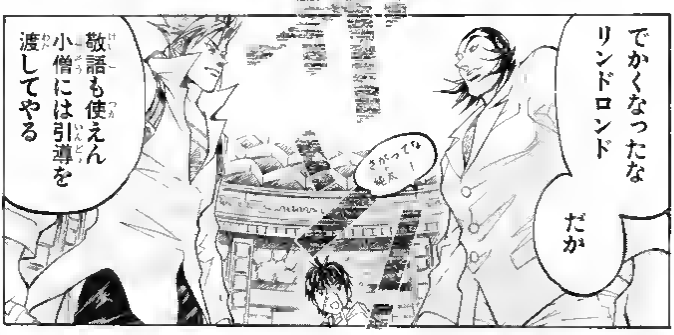
見えない！
リンドロンドの
攻撃・動き
さっきまで
見えていた物が
……全く!!
やられる！
CHOW
——今の
銃撃は
！

貴様か
相変わらずの無礼者め
まぁよい…堺の中て貴様に礼儀を教え込むのが楽しみだよ
リンドロンド
逮捕だ
鬼平!!

ドールガン
DOLLGUN

純太――
待たせたな!!
フッ…
お…
鬼平…
さん…!
第50話
名銃VS名刀

鬼平…
貴様か！


でかくなったな
リンドロンド
だが
敬語も使えん
小僧には引導を
渡してやる
さがってな
嬢ちゃん！

鬼平さんと
リンドロンド
俺の知ってる
最も強い
二人が
戦う
――!!
15年前：
ドールガンも
一目おいた
実力！
今も残って
いるのかな？
お…
おまえか
～～～!?
！

おまえなのか〜?
あの御方が俺に約束してくれた……
彼を紹介してやる
もみあげの紳士をな
"もみあげのキミ"とは おまえの事か——!!?
ガ…ッ……
ガズラー!!
レッド!!
ガズラー!!
国際A級手配の大物がこんな所に!!
想いを遂げる前に確認せねばならぬ事がある!……!
言いやがれ〜〜〜ッ!!!
おまえは何歳だ!?
39だ
年上ッ!
ふぁぁぁ

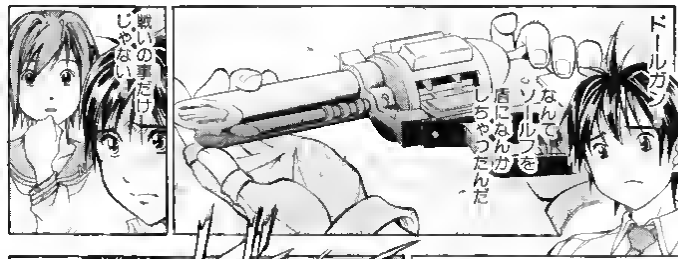
俺の許嫁！
WHOOOォォォ!!!
ンアあァァ♡
無礼者！
年長者に語りかけるのに
“心の贈り物”ひとつ
持たんとは何事だ？
な…！
心の贈り物：
そ…それは
敬語だあァ
ゴオオ
ビシッ

ぐぅん
ぐぅん
ぐぅん
なるほど
パワーアップしているな
にやり
は…
始まるッ!

行くぞー
リンドロンド
ぬん！
迅い！
…まさか…
ちっ
バケモンめ
45ACPが
ジャブにしか
ならんとは…

見えるんだよ
鬼平…
俺の〝影視〟には
貴様の〝揺らぎ〟
貴様の次の
攻撃が――!!
確かに強い
異常な強さが見える
だが
どう撃つか
見えてしまえば
怖くはない―
やっぱりそうだ…
リンドロンドは
さっき俺が体験した
ドールガンの力と
同じ物を持っている―
闘いの一瞬の未来を
見通す事のできる
影視の目を――!!

ついさっきまで
俺もあの世界で
戦っていたんだ！
戦えていたんだ！
一寸の先を
読み合う
超バトルの世界
で――!!


ドールガン
なんて
ソールブを
盾になんか
しちゃったんだ
戦いの事だけ
じゃない

とても
大事な宝――
壊してしまった…
…そうだ！
鬼平さんは
むっ…!

予測より速い！

――そうか

かつてトルガンも

うらやんだあの銃が

奴に一瞬の優位を

与えているのか

コルト
ガバメント
ボブ・チャウ
スペシャル!!

ボブ・チャウとは

'48ロンドン五輪の

射撃メダリストにして

33種の世界記録を持った

伝説のシューターである

彼が銃工として作った

改造銃は

戦いのムダを無くすため

外見の美しさを捨て

角を全て丸められた

異形のフォルムの中に

最高の性能を包み込んだ

古典的カスタムにして

――最高峰――!!

ボブ・チャウの

性能が

コンマ数ミリ秒の翼を

与えていたのだ!!

チィ

射撃と体術の

コンビネーション

スキあり！

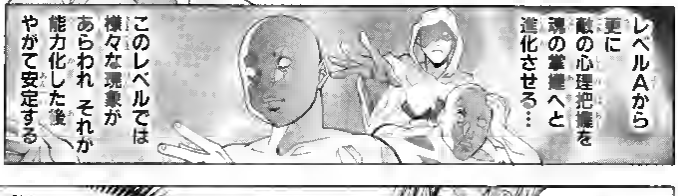
とらえたぜ
リンドロンド！
！
自分の体の影で
銃を持ちかえた…だと
——かわせん！
！
何ィ
——!?
しまった！
カバメントは
スライドを
押し込まれると
撃鉄が落ちん
こいつ
とっさに！
伝説の名銃といえと
カバメントの基本設計
は100年前！
接近戦の
弱点を
このアイアン
リンドロンドが
知らんと思ったか！

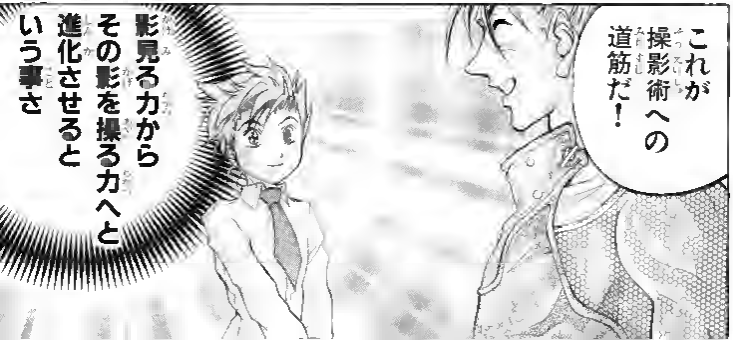
終わりだ
鬼平
たわけ！
こっちが100年なら…
貴様の正宗こそ
700年ものの
クズ鉄だろうが!!
何イ――!!!?

バカな…
鬼平はバランスを
崩していた…！
あの体勢から
普通は跳べん
あらかじめ…
我が剣の軌道を
読めない限り――
まさか!?
――フッ
気付いたか
俺も持って
いるんだよ
貴様と同じ
影視
『目』をな
こいつ――!!
いいか リン
キミに操影術を
教える前に
その基礎となる
影視について
復習しよう
そもそも
影視とは
少数民族のカルダ人が
昔 十字軍の時代に
一VS多で生き残るため
編み出した技だ

最初はまず
自らの戦いの場を
見下ろした視点で
知覚できるように
なる――
これが
影視レベルC
影視
レベルB
そして
次の段階では
戦いの中で敵の心理が
読めるようになる

更にマスターすると
戦いの一瞬の未来を
視覚の内に捕えられる
ようになる
リン――
今の
キミのステージは
影視レベルAだ


レベルAから
更に
敵の心理把握を
魂の掌握へと
進化させろ…
このレベルでは
様々な現象が
あらわれ それが
能力化した後
やがて安定する


これが
操影術への
道筋だ!
影見る力から
その影を操る力へと
進化させると
いう事さ

ドールガンを
討つために
磨いた力で
ドールガンを
討った
貴様を捕る!!
影視レベルA-9
これほどのぼい手
久しぶりに見る
強い!!
だがこの
奇妙な実感は
なんだ・・?
西純太の
動きの方が
俺の攻撃を
見切っていた

もらったァ
…あ？
ああッ!?

なんだ!?
リンドロンドの影が……
廻り込んでいるッ!!!

危ない
鬼平さん
何ィ!?

ぬぉおおおお
見えなかった！
今の一瞬の不覚…
なんなのだッ!?
それが
ステージの差だ
鬼平
貴様は
レベルA
これが影視
レベルSだ!!!

!?
触れてない
のに
――何故!?
ぐわアああ
ガバァ
――か…
かわしたッ!!
人形正宗――!!
歴史に名高い
鎌倉時代の刀匠
五郎入道正宗は
現代においても
最大9振りもの刀を
国宝に指定される多匠である
この人形正宗は
かつて江戸の大火で
失われた
幻の名刀だ
斬撃の刹那
リンドロンド
渾身の切っ先は
音速を超える
鬼平の総身を
切り裂いたのは
その衝撃波――!!
尋常な刀では
耐えられぬ秘剣を
名刀正宗が
生み出したのだ!
鬼平!
これまで

待てーーッ!!!!
茜純太!
くじかれた戦意を取り戻したか!?
見えた!
今 リンドロントの一瞬の攻め手の先が俺にも見えたー
――今なら!!!
バカ純太やめろ!
ソールフは折れた!
ぼっ
――だが俺がドールガンのカを会得すれば遺産を無事得たのと同じ事――

リンドロンド!!
貴様を倒して
その証にする!!!

――見事な闘志だ
やはりあなどり難い戦士だったな
二人を相手は大変だ
!
ひとり潰しておこう

しま…
あ…
あ!

屍影術!

鬼平を討て
——純太…!!
うわァあぁあ!
純太
——!!

貴様は影を失った!!

間違いない…これは致命傷…
ガッ
捕えた…
茜純太を屍影術の虜に――

ゴロッ
おっ…おい…純太!
まさか!
クルル
…ふは
ふは
ふ…
ふは
ふは

第51話 運命の一撃

お姉ちゃん急いで!
待って——ひかる…
なんだろう…悪い予感がする…
純太!
ぬおおおおおおお!!
あの声は!?
ぐ…ォお……

くッ…
そうだ 純太 押さえていろ
引導を渡す時が来たな…鬼平!!
ギリギリ

フー
フー
フー
ゲゲゲ

純太…なんて出血なんだ!? 助からないぞー
だが何故動く? ……まさか
操られているのか!!?
屍影術だ 死者を操る力だよ!
何ィ!?
哀れだな 茜純太…

だが
嘆かずともよい
その命
無駄ではないよ…
最強の男が
〝戦士〟と認めた
証なのだから
バカな…!?
死者を操る
…だと!
まさか…
こいつ…もう?
鬼平
覚悟――!!
――!!
純太
――!!
何ッ!?

スカーレット！
純坊！
ひどい出血…
危険だわ！
アンドール……！
来るな!!
純太――!!

ウォ…
オオオ
オおオオオ
ガァア!!
くう…!
こいつ 俺の銃を
狙ってきてる
仕留めるしかないか
…今だ
鬼平
撃て
…!!
な!?
今の声は?
…待てよ
コレカッ!!!

純太の体を盾にした銃撃！
いや、このために純太が服をはだけたという事か…？
まさか!?操られているはずの純太が…か？
ち…ちょっと待てッ！
今、俺を呼び捨てにしなかったか？
待て…よ？純太の声しゃない…聞き覚えのある…
まさか！
ジョジョオープ
おっと鬼平の腰にイイ物発見!!
ぬう！
なんだ!!?

ヒュン
ヒュン
ヒュン

純太くんの命を絞った
血鏡をな
ドールガン…!?
バカな!?
刃を突き立てられた瞬間
口金に姿が映り
急所を外すことができた
危なかったよ

リンドロンド決着だ!!
まやかしを!
来い!!
鬼平――
――押セッ!
!
フ…
バカめ…
貴様達の未来が揺らいで見えるわ!!

下段から銃撃！
上段から打撃！
影祝レベルSの前には全ての攻撃は〝あらかじめ見た〟モノになる

しかも！

！
弾切れ――！
上空支援は無し!!
くッ……！
せめて
奥義できめて
やろう!!

純太ァ――!!
あれは!
踏み込みが!
くッ
ひかるが拾っていたソールフのシリンダー
崩れた!
切っ先は届かない
届かずとも射程圏!
奥義

音速剣(おんそくけん)
ハガネヒビキ
鋼響!!!
直撃(ちょくげき)!
ヒビキ
でぁッ
純太(じゅんた)!

ぐ
あ
あ
ああああ
ソールフ
服の下に
隠していた!?
これが俺の
最後の武器
だッ

おおおお!!!
ぐッ…
バカな!
占いの女のコが言っていた
東方の前に敵が現れます
今までで最も強力で恐ろしい敵――ガ!!
よもや この少年の事であったとは
フフ…
そうだ
ジェド
傷は…大丈夫?
なんだ リン気にしてんのかこんなのはなんでもない

なんたる皮肉：
俺が片目を
奪ったジェドが
命を賭けて
守った少年に

ハー
ハー
ハー

よもや俺が
目を奪われる
事になろう
とは……

俺の負けだ
まこと
人の運命とは
火車の如く
廻るものだな
リン…
リン!
聞こえるかい?
ボクだ
ドールガン!?
ま…さか…
本当に!?
リン…
15年前の
話をしよう

ドールガン
DOLLGUN

この二人の
超人師弟の出会いは
1979年8月1日
――地中海――
聖＝カルダ島
この島に身を寄せる
難民移民キャンプに
何者かが大災厄を
もたらした時――
ウゥ――
ウ――

サンク＝カルダ
大虐殺事件
――

肉の焼ける臭い…
遅かった!!
クー
誰か…!
生きていないのか!?
あ!
よく生きてた――!
いや――よく奴の術にかからなかった
ボクは味方だ
ボクの名はマ…あ…いや
リンドロンド 5歳

ドールガン
この時　19歳
ドールガン
ボクの名は
ドールガンだ
純太の命懸けの勝利が
ドールガンとリンドロンド…
時の迷宮に隠された
二人の真実を明らかに
しようとしていた――
第52話
怪盗誕生!!

そう
だったのか
あなたが
茜純太に
憑いていたとは
言われてみれば
合点がいく…
それにしても

また…
ドールガンと
会えるとは
！

ね…ね！
純坊 何を話して
いるのかしら？
ここしゃ
聞きとれない
そばに
行きたい
…けど…
さっきまでの
戦いの余韻に
圧倒されて…
前に進めないわ

もう一度だけ
教えてくれ
本当に…
本当にあなたが
ドールガンを
殺したのか？

ドールガンを殺した男…
そう名乗った男が多い時には世界に20人以上はいた
え？
――だが今は一人もいない…
みんな俺が殺した
！
なるほどな　ヤクを殺したとすれば　ウラの世界では八クがつく　騙りが横行したわけか
ドールガンを殺すには少なくとも影視レベルS以上おそらくは操影術そのものを使える必要がある
――俺は捜した　操影術を使う男を!!
じゃあ…　ドールガンを殺したって言ったのは…!?
そう言ったのも　ソールフを奪おうとしたのも
理由はただひとつ…

ドールガン
殺しの真犯人を
捜すためだ!!

やっぱり…
リンドロンドが
犯人じゃなかった
んだ――!
シルバー達がやられた
という情報を聞き
操影術の気配を感じて
マークしていたのだが
まさか
ドールガン
そのもの
だったとはな…

ほんの少し
残念だよ リン
キミに殺されたなら
それはそれで
幸くない人生かと
思っていた
カルメ事件の
地獄の中であなたと
出会い――
父とも兄とも
慕ったあなたを
目標にして俺は
強くなったんだ
だのに
何故!?
俺を日本へ
連れていって
くれなかったんだ
15年前の
あの日…

あの時――
俺を連れて
いけば

あなたは
死なずに
すんだのに!!

日本で
ナギサちゃんが
おめでただってさ
えっ…
アハハ
予定日は来月
だとき
あのおてんば娘
いきなりだぜ
…そう…
そうだ リン
キミはベルリン
で仕事がある
留守番だ
え?
ハハ…
そろそろキミも
幹部の仕事を
憶えてもイイ頃だ
……
待ってろよ
リン
フフ…
フフフ…
何故?
アハハ 確かに
リンがいれば
ボクは死んで
ないたろう
さあ―?
なんてたろうな
きっとたいした
理由じゃないさ
人の運命なんて
理由もなく流れて
いくモノだよ

死人は気楽だな
——だが生きている人間には答えが必要なんだ
俺は行くよ
待って！
教えてくれ！
あの…カルダ島事件の犯人はドールガンじゃないんだろ!?
……
リン…
言うなよ
キミの知りたい事には答えられない……
理由がある
その理由を知るにはキミはまだ未熟…！
たが…
今日の勝利の証としてヒントをやろう
リン！

鍵を握る名前――
オットーとエルフマン
あとは――
キミが強くなれば
そのソールフが
キミを真実へと導くだろう
！
バカ！
その二人の名を出すなんて
オットー！
エルフマン！
その二人が真実を知ってる？
もしかして真犯人!?
少なくともこれだけは言える
やっぱり遺産探しがドールガンの秘密への道だった！
ひかる…
みんな…！
！

行こう！
うん！
次の遺産へ

警官隊
突入——!!

この地下には
一連の爆弾テロの
首魁がいる！
発見せよ
なお
アンドールも
見つけしだい
確保——
マリオネットの
幹部も複数いる！
これも注意して
確保せよ!!!
フン…
少々脳がしく
なってきたな

——だが私も仕事は済んだ
あとは〝奴〟を回収し脱出だ
おや？これは…
地下水が流れ込んできているのか？
あれは！

ワルビー!!

こてんぱんにやられて流れてきたのかしっかりしろ！
うぐぐん
ええい口ほどにもないとうしたものか…
待てよ
この流れ…？

この地下水…外に流れ出ているハズだ…！
見つかりません そっちはどうか!?
警察
——クッ
これだけは 渡せない…
ソールフの宝箱の奥に隠されていた父ゴールドの封書
Gold
実はこの封書こそドールガンガ父ゴールドに託した最初の遺産——
これをソールフを獲得するほどの猛者に託す事を意図していたのだ
この封書の中には
父の行方を知るための手がかりがある！
誰かいるぞ おとなしくしろッ！
チッ
おまえに託したー
ワルビー 頼むぞ

包囲したぞ
貴様は!?
フフフ…
POLICE
私はゴールド
ここは諸君らの手柄となろう
マリオネット幹部逮捕！
構成員も続々確保されています……
あれっ？何か痛いなぁ
あけてくださいよぉ
うわあっ？何かささってる
が！

アンドールが
見つかりません
鬼平警視も
行方不明…
いったい――!?
よ――し
エンジン
スタート!
た…
大変だ
――ッ
謎の怪盗に…
警察ヘリが
奪われた
――!!
な…
ハハハハハハハ!
ケーサツの諸君!
この学園に隠された
ドールガンの遺産
と――
アンドールの
女のコ達は
俺様が
いただいた!!!
な…
何と人――!?

私達まで純太にさらわれたって…どういう事!?
警察はみんなの事もマークしてるんだよ
アントールがさらわれた被害者になれば警察の疑いをかわせるだろ?
あったまい――!!
――ま…ドールガンの受け売りだけど
このヘリの操をくれた鬼平先生はどうしたの?
あ…これに乗る前にトイレて別れた…けど…
鬼平先生には気の毒だったよな――
鬼平…礼を言うよ
よく純太くんを助けてくれたありがとう
ドールガンだ
また会っちまった
ところでボクはキミに謝らねばならない事がある――
にこ――――り

もみあげの件だ！
ボクはたたもみあげを伸ばせばキミに似合うと思っていたがこ独りよがりの思い込みだったようた
もう…キミの好きな長さに切ってもイイからね
……
おい ドールガンそんな事より先生のおもらしを治してやれよ！
えっ？
うんうん
これもおまえのせいだろ!?
鬼平…
人生には我慢も必要だ
そのキャラは気に入っている
おいおいお——い!?
しばよおお

犯人を追え!!
あのヘリを逃がすな——ッ!!
ダメです
他のヘリには飛べないよう細工が!
ボロッ
信じられない戦いだった
けど…この感じはなんだろう…
遺産をめぐる戦いの事を想うと——
ワクワクする——!!
何者だ!!?
——おい!ヘリを奪った貴様…

俺は
ドールガンの遺志を継ぐ者だ!!
!
今回は手始めに
悪党王の証ソールフをいただいた――
警察だけじゃない…
世界中の悪党達も俺の名を憶えておけ――

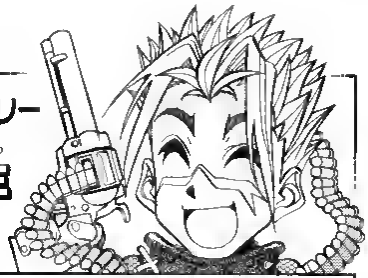
俺(おれ)は怪盗(かいとう)スカーレット

ドルガン
DOLUGUN

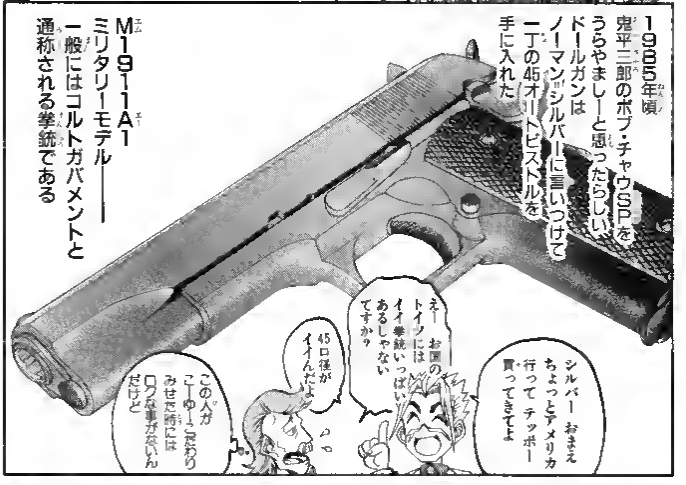
おまけまんが

ドールガン☆サイドストーリー

SOULF誕生



1985年頃
鬼平二郎のボブ・チャウSPを
うらやましーと思ったらしい
ドールガンは
ノーマンシルバーに言いつけて
一丁の45オートピストルを
手に入れた



M1911A1
ミリタリーモデル――
一般にはコルトガバメントと
通称される拳銃である

ところが整備中
ノーマンは銃の
セレーションで
指を切り大出血―

※セレーション…銃のスライド上に彫ってある すべり止めの溝

※この物語はフィクションです。
実在の企業とは関係ありません。

だいたいガバメントなんて
拳銃はコルトたけが造ってんしゃないー
あんたは戦中に90万丁造られたレミントンライト製たろ
他社の製品をサポートできるワケがない
ぬぬぬぬぬ
嬉たと思うなら
スライドストップの下の検印を言ってみなー
レミントンライト製ならFJAと書いてある
JKCと書いてあるわい!!
JKC
ワォー なんだって!?
そりゃあんた 500丁しか造られてないンカー製カハメントたよ
激レアのお宝しゃないかー
わめてとっ サポートはしないよしゃあな♪
あ……!
※ちなみにゴルゴはGHD
ミシン屋が銃造るワケねえだろ言いつけてやる!
ふぇえぇ
どうしたシルバー?
かくかくしかじか
コルトの野郎 汚れたピストル売っといて保証しないって言うんできけからん!!
なんだと——!?
よーし!
ここはボクが…
コルト以上のオートマチック拳銃を造ってやる!!!
COLT
SOULF
ニヤリ
どーん
こうしてドールガンはフロリダで金持ち相手に西部劇時代のリボルバーのレプリカを造っていた工房を買収してソールフ社を設立した——!!
え!? 何かのパクリだって!?
ち 違うよ そんなフェラーいやランザ

当代随一の
拳銃職人——
ソールフ兄弟を
手に入れて

さあ！最高の
45オート拳銃を
造ってくれ!!

兄：ウイルバー＝ソールフ
弟：オービル＝ソールフ

ドールガンと
ソールフ社は
銃器業界を
圧倒するかに見えた

だがそこに!!
ひとつだけ重大な
見落としがあったのだ

兄ちゃん
俺ら
リボルバー以外
造ったことが
あったっけ？

——あ！
ねえわ

まいったね

だが しかし
兄・ウイルバーは
頑固だった

リボルバー
しか造れん
のなら

……

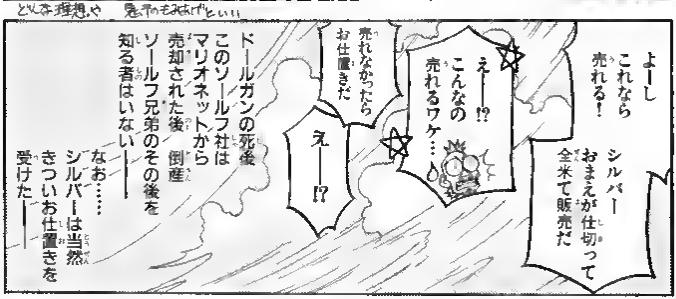
リボルバーで
造ればよ

こうして
異形の拳機関銃が
誕生した

ベルト給弾
フルオートリボルバー
SOULF
S.A.A.!!

なんなんだ
この銃は――!?
そもそも
照準無えじゃ
ねーか!?
どーん
フフ… 拳銃なんてのは
とんな高精度に造っても
そんなに当たる
もんじゃない
そこで教えて
照準を廃して
単体での弾幕展開に
主眼を置く
それが このソールフォートの コンセプトでさ!
とは言っても銃身の精度には手を抜いてないけどね

なんじゃそりゃ――
OK――!
気に入った
一見ムチャクチャだが
合理的思想に基づいている
え!?
男子の理想を体現したような拳銃だな


よーし これなら売れる!
シルバー おまえが仕切って全米で販売だ
え――!? こんなの売れるワケ…
売れなかったらお仕置きだ
え――!?
ドールガンの死後このソールフ社はマリオネットから売却された後 倒産
ソールフ兄弟のその後を知る者はいない――
なお…… シルバーは当然きついお仕置きを受けた――

初出／週刊少年チャンピオン
2005年34号から43号まで。

〈ファンレターのあて先〉
〒102-8107
東京都千代田区飯田橋2-10-8
秋田書店　週刊少年チャンピオン編集部気付
出口竜正先生

ドールガン・シリーズ
ISBN4-253-93528-1

SHŌNEN CHAMPION COMICS

ドールガン⑥

平成18年 1月10日　初版発行

著者　出口竜正
発行者　秋田貞美
発行所　株式会社 秋田書店
〒102-8101 東京都千代田区飯田橋2-10-8
☎編集03265-7361　販売03264-7248
製作03265-7373
振替口座　00130-0-99353
印刷所　三省堂印刷株式会社

造本には十分注意しておりますが、落丁・乱丁(本のページの抜け落ちや順序の間違い)の場合は、購入された書店名を記入の上、「販売部」宛にお送りください。送料小社負担にてお取り替えいたします。但し、古書店で購入したものはお取り替えできません。

(禁/無断転載・放送・上映・上演・複写)　©R DEGUCHI 2006

ISBN4-253-20816-9　Printed in Japan

DOLLGUN

出口竜正

7巻で

このあたりを描いていた頃は、
夏風邪をひいてしまった影響で
いっきに締め切りの余裕が無くなってしまい、
ヒーヒー言いながら描いていたような
記憶があります。かすかに（笑）
しかし、同時に非常に楽しく描いてたな～と。
ワルビーの一連の話から"あの一言"。
鬼平のアレ、そして純太パパ。
特に純太の親父は、純太が俺の息子だったら
どんな説教をキメてやるかな～？　とか

悩むのが
楽しかったッスねー。

ワルビーのアレは同巻でドールガンに
「おしおきしてやる」と言わせた時から
狙っておりました！
く～、コレでもう少し時間があったら
もっと楽しかったのに～
と、軽く泣き言を決めたところで、
いきますか。

9784253208178

ISBN4-253-20817-7

C9979 ¥390E (0)

雑誌 40092—40

秋田書店

定価：本体390円＋税

1929979003906

ドールガンの謎を追え!!

ドールガンの愛銃「ソールフ」を手に入れた純太とアンドール!!
しかし、その遺産を狙って恐るべき組織が動き出す…!!

大怪盗ラブアクション

少年チャンピオン・コミックス
SHONEN CHAMPION COMICS

少年チャンピオン・コミックス

ドカベン [全48巻]	水島新司
ドカベン プロ野球編 [全52巻]	水島新司
ドカベン スーパースターズ島 [1〜11巻]	水島新司
本気！Ⅱ [1〜5巻]	立原あゆみ
Am a Boy [1・2巻]	立原あゆみ
バキ [全31巻]	板垣恵介
グラップラー刃牙 [全42巻]+外伝	板垣恵介
BAKI アルティメットブック GRAPPLER SIDE 白虎之書	板垣恵介
BAKI アルティメットブック FIGHTING SIDE 青龍之書	板垣恵介
新装版 ブラック・ジャック [全17巻]	手塚治虫
ブラックジャック〜黒い医師〜 [1・2巻]	手塚治虫+山本賢治
フェイスガード鼻(トリコ) [全6巻]	おおひなたごう
アクメツ [1〜17巻]	田畑由秋+赤瀬裕輝
鬼組 THE REVOLVER [1〜6巻]	藤井克己
WORST [1〜13巻]	高橋ヒロシ
We are the WORST！ [全1巻]	高橋ヒロシ
クローズ [全26巻]+外伝	高橋ヒロシ
浦安鉄筋家族 [全31巻]	浜岡賢次
元祖！浦安鉄筋家族 [1〜12巻]	浜岡賢次
番取センパイ [1〜9巻]	秋好健一
GO ANd GO [1〜29巻]	古谷野孝雄
南風！BunBun [全4巻]	米原秀幸
Switch [全13巻]	米原秀幸
番長連合 [1〜13巻]	阿島秀司
BMN(ブラックマンデーナイト)ジャパン [1巻]	SP☆なかてま
BMN(ブラックマンデーナイト)[全13巻]+外伝	SP☆なかてま
らしさ！	SP☆なかてま
花右京メイド隊 [1〜13巻]	もりしげ
ショー☆パン [1〜26巻]	森島夕次+松島幸太朗
麺屋台ロード ナルトヤ！ [1〜6巻]	馬場民雄
さんごくし [全6巻]	やまさき拓味
野球しようぜ！ [1〜4巻]	いわさわ正泰
無敵艦娘娘 [1〜16巻]	佐渡川準
島国ロマンス万力高校「吉原炎上」暁の帝子番長	河田雄志
舞-HiME [全5巻]	キムラノボル+佐藤健悦
舞-乙HiME [1・2巻]	吉野弘幸+樋口達人+佐藤健悦
いっぽん！ [1〜9巻]	佐藤タカヒロ
ドールガン [1〜7巻]	出口竜正
プリプリ [1〜4巻]	千羽太郎
剣鬼ツバメ [1〜6巻]	高橋功一郎
ガキ島祭 [1〜4巻]	藤井良樹+旭凛太郎
サナギさん [1巻]	施川ユウキ
卓球Dash!! [1〜3巻]	本田真吾
ナンバMG5 [1〜3巻]	小沢としお
ガン×ソード	兵頭一歩+ひのき一志
Pound for Pound [1・2巻]	所十三
フットブルース [1巻]	能田達規
サイカチ〜真夏の昆虫採集記〜 [1巻]	藤見泰高+カミムラ晋作

東京 秋田書店 発行

少年チャンピオン・コミックス
SHONEN CHAMPION COMICS

ドールガンの謎を追え!!

ドールガンの愛銃「ソールフ」を手に入れた純太とアンドール!!
しかし、
その遺産を狙って恐るべき組織が動き出す…!!

大怪盗ラブアクション

秋田書店

少年チャンピオン・コミックス

7

ドルガン
DOLGUN

出口竜正 でぐち りゅうせい

純太の心の中に住む15年前に死んだ世界的大悪党。操影術の使い手。

ドールガンが死んだ日に生まれた高校1年生。ドールガンが憑依中!!

ドールガンの愛人かつひかるの母。アンドールの保護者的存在…!!

ドールガン最後の娘。アンドールの一員で純太とは相思相愛の仲!?

アンドールのリーダー。フランス生まれで銃器の扱いに長けている!!

アンドールの一員。イタリア生まれでコンピュータ関係が得意!!

アンドールの一員。ブラジル生まれで薬や火薬のスペシャリスト。

CAST & STORY

ツァファイア

ゴールドの配下を装っていたが、その正体は不明。接近戦が得意!!

ワルビー

ゴールドの配下。右腕にレーザー砲を仕込み遠距離掃討が得意…!!

ゴールド

マリオネット幹部。自らの父が隠したドールガンの遺産を探索中!!

鬼平三郎

ドールガン逮捕に執念を燃やしていた警視庁の敏腕刑事だったが!?

ガズラー

マリオネット幹部。出世のためにドールガンの愛銃を狙ったが…!?

リンドロンド

ドールガンの側近中の側近。ドールガンを殺した男を捜している!!

●前巻まで●

ドールガンの遺産が眠る奈狩野高校の地下最深部に到達した純太とアンドール。

そこで、ガズラーとの争奪戦を制し、ドールガンの愛銃ソールフを手に入れた純太の前にリンドロンドが立ちはだかる。

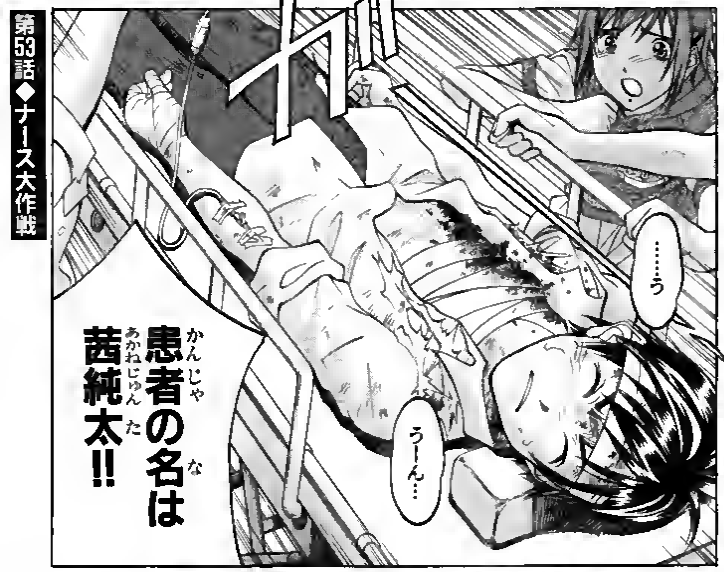
鬼平の助けも借りてリンドロンドにも勝った純太だが、リンドロンドの口から語られたドールガンの謎が…!?

CONTENTS

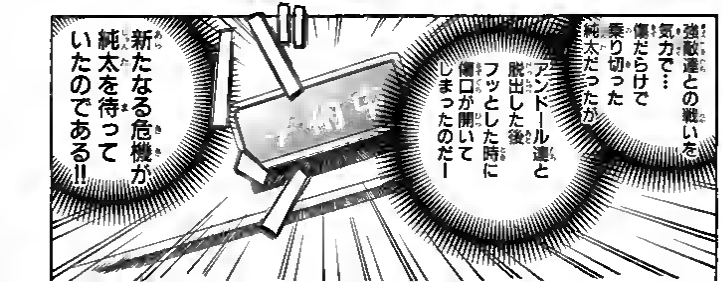
第53話◆ナース大作戦 ——— 7
第54話◆ワルビー強襲!! ——— 27
第55話◆影の騎士団 ——— 47
第56話◆悪魔との再会 ——— 67
第57話◆ワルビーの涙 ——— 87
第58話◆撃て!! ——— 107
第59話◆新しい絆 ——— 127
第60話◆魔神、跳梁する世界へ —— 147
第61話◆心の揺らぎが止まる時 — 167

★この作品はフィクションであり、実在の個人・団体等にはいっさい関係ありません。

急患です！
胸部・頭部に深い刀傷――
また左手・胸部に重度の火傷
更に全身打撲…重体です！


……う
うーん…

患者の名は茜純太!!


強敵達との戦いを気力で…
傷だらけで乗り切った純太だったが
アンドール達と脱出した後
フッとした時に傷口が開いてしまったのだー
新たなる危機が純太を待っていたのである!!

第53話
ナース大作戦

止血を！
止まりません！
純坊…
大丈夫？
心配ないわ
ウチにはあの先生がいるんだから
え？
落ち着いて
私がやるわ
澄香先生！
胸の傷は私がおさえるから　みんなは火傷をお願い！
ハ…ハイ！
大丈夫よできるわ
は…
速い！
きすがは当院の誇る天才外科医黒沢澄香先生だ
院長…

手術中
手術はうまくいったわ
やったァー
…おや？この娘達…
確か…
3日後
心配しちゃったわ 純太
ゴメンゴメン
みんなありがとう！
それにしてもスゴ腕のお医者で助かったわねー
先生
ママー♪
ひな！
あ

この病院のエース
黒沢澄香先生
ふえええええ
あらあら
痛くない
痛くない
若くして
旦那様に先立たれて
女手ひとつであの
娘さんを育てている
スゴ腕だけじゃ
なくて
優しい先生なん
だって――
へ――
綺麗な人
だなあ♡
ちょ…ちょっと
――何をデレデレ
見てんのよっ!?
あ…
いやその
純坊くらいの
年頃の男のコは
年上に憧れる
ものよ!
ちょ…
私達
みたいな♡
ひかる――
妬いちゃ
ダメよ――
え～～～!?
待って…
そーだ!
レティシアが
さっきから様子が
おかしいん
だけど…
うそを
あー
アレね…
うそを

俺は怪盗スカーレット!!
あの時 自分がつけた名前を使ってもらえて レティシアったらそうとう嬉しかったみたいなの
——でずっとあの調子 超ゴキゲン
気をつけて絶対 反動あるから……!
まったく純坊は お姉さんの心をつかむのが上手いのよね——♡
いやー
その?
天然の年上指向とゆーか♡
う…
う〜〜〜ん
ここでニュースです
国際的犯罪組織幹部 幹部2名逮捕
先日逮捕された犯罪組織幹部 レット・ガズラー ゴールド・グレース 両名は黙秘を続けており——
敵に〝さん〟づけってどうしちゃったの?
ゴ…ゴメ… でも宝部屋で少し世話になったよーな
もしかしてみさかいなしの年上好き〜〜!?
検診の時間よ
あ
ガチャ
逮捕されたのはガズラーの妹とゴールドさんだけか
リンドロンドは連れんさいか
ゴ…ゴールド〝さん〟〜〜〜!?

黒沢先生ー
もう少し安静にしてなきゃダメよ？
ハ…ハイ
すいません
やっぱ男のコって
女医さんとか白衣に弱いのよね——
いいな——
私も憧れちゃうな
……
——さてそろそろ落ち着いてきたみたいだからビジネスの話をさせてもらうわよ？
え？

治療費と——
口止め代
しめて
5000万円
払えるわね？

!?

ちょっ…ま…
何その金額——!?
口止め代って…!?
あなた 亜アンドールでしょ？
！
たしか先日の学校の事件では人質にされてすぐ解放された…
でも その純太くんの傷はとっても事件性の強いものだわ
なのに この件は警察には伝えていない様子なのは何故？

彼の診断書を
警察に送ったら
どうなるかしら？
よく考えて
答えてね
あ…
ど…
どうしよぉ
――っ!!?
どーーーん
お金
ないよ！
だって――
こないだのライブ
利益抜きで
やっちゃったし…
とんでもない
病院につかまっ
ちゃった――!!
俺を助けて
くれた先生が
あんな事を
言うなんて…
ふえぇ…
つつ～～～
？
この子…
先生の娘の…
えっ
えっ
ひなちゃん!?
ママと院長先生が
話してたの～～～
え!?

黒沢先生
またやって
もらうわ…
あの
アンドールなら
5000万は
絞り取れるわね
フフ…
あなたは
逆らえない…
そ…
それは…
あなたの医師免許
私の手の中に
ある――!!
ホホホ
この病院を出たら
娘を育てる事も
できないんだから
――!!
ひ…ひどい
院長が黒幕
だったのね
この人を
子供をダシに
脅していた
なんて…!
よ…
よ…くも…
よくも私の
怪盗スカーレットを
愚弄してくれたな!!
レ…レティシア
――!!
行くわよ…

怪盗天使
スカーレット
一家
出陣よ♡

この完璧な
看護師の変装で
院長の金庫の中の
免許証を盗むー
スカーレット
一家
初仕事よ!!
あー!
ね…ネ!
純太
似合う?
あ…ああ…
——ってンな事
言ってるバ…
ひゃー
かわいい♡
もう!
似合うって
言ってよ
——
わ…
わ——っ
似合う!
似合うよ
うん…
ありがと♡
わわ! みんな
ちょっと待って
そのカッコ

――じゃ行くわよ！
あ――っ待って…
やばいよ！だってソレ看護師の変装じゃなくて
看護師風の〝舞台衣装〟じゃないか――ッ!!?
くっそ～こんな時にケガで動けないなんて
院長室
ここよ…
これは
で…でかっ…
これ銀行の地下にあるような大金庫じゃない
テュッティ開けられる？
ヤバイよ夜明けまでにはキツイかも
クッ…油断したおまえらイキナリ乗り込んでくるとは～
！

こ…の…
ドロボー猫
どもが～～～!!
院長
――!!!
あっ
院長先生
夜勤お疲れ
で――す
お疲れでーす
――はい!
気をつけて
帰るのヨ
看護師は
健康第一――
……
――って
たまされる
か――っ!!!
はっ
きゃ――っ
鋭すぎッ!!!
私達の変装を
見破るとは
やるわね!
あ～～～
の～～～
な～～～!
そんな
コスプレ…
こうして
くれる――!!
!

レティシア！
フフ…！
私が集めた金は
大陸マフィアの
資金源なのヨ
きゃあああ!?
プロに刃向かった
事を後悔するが
いいワ!!
いやぁあア！
やっぱり
心配だ
みんな…
待ってろ

ひかる――!!
純太あー
フン…
ケガ人は
すっこんで
いなさい!
その時――
純太には奇妙な
直感があった
あれ…こいつ
あんまり強そうな
感じがしないぞ
それどころか
ナギザさんに
武道をさせられてた
ひかるちゃんの方が
強そうな
そうか…――
こいつ騙ってる
金が入ると騙って
祝杯あげてたな…――
ちょっと動いて
胸があがってるんだ
ひかる!
そいつ
ヘロヘロだ
悪党は
やっちゃえ!
えっ!
よ――し!
純太が
言うなら!
あッ…
しま…

ハあッ
あ
ドールガン
よし！純太くん撃て
あ…
ソールフ撃れたけど大丈夫？
バカだなぁ
鏡の中のSOULFは健在——!!

ボクの――
魂の銃だからね♪
!?
あ…!?
あれっ？
…手が勝手に!?
い…いかん
金庫の鍵が――
金庫が開いた
やったぁ――♡
今のは…ドールガンと一体になった時と同じように敵の強さが見えたワケじゃないけど感じる事ができた
あの戦いが俺の糧になっている――!!
ママ――
ひな！おいで

ママ
大好き
純太さん
みなさん…
本当に
ありがとう
ございました――

登香先生に
笑顔が戻って
よかった
――また
純太ったら
見とれてるわ
もう気に
しないもん

年上とかそんなの
関係ないわ！
だって純太は
いつも見守って
くれてるもの
おまたせ――♡
純太くん
"アレ"直った
わよ～～♡
お…
お田さん――
みんな
元気――？
！

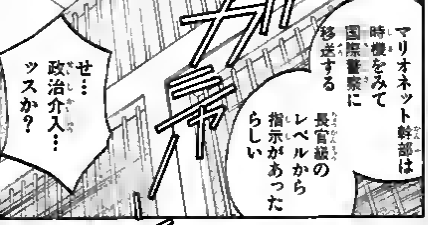
ナギサさん！
へ？ナギサさん？
ニヤ
——ハッ！"アレ"ってまさか……
ひかるちゃんにもらった時計だ——！
ヤバイよ！だってアレ裏したのひかるちゃんに内緒なのに～～～

ダメですよナギサさん気を付けてよ
あ そっかひかるには内緒たっけー
えっ…
え？
何二人でコソコソしてるの～!?

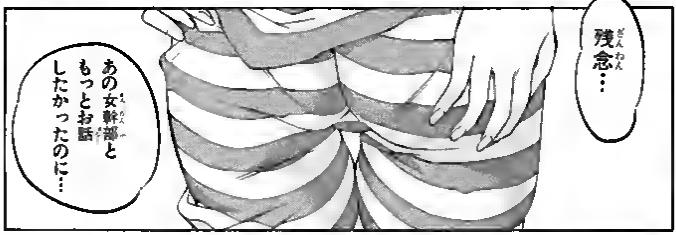
だいたい"ナギサさん"って変でしょ——？
フツー人の母親は"ひかるのお母さん"——だよね！
自分ゆずって"ひかるちゃんのママ"でしょ——!?
なんで二人そんな仲良しなの～～～!!?
あゴメン
ひかるは聞かなくてイイ話だから
のぶのぶん
ぷるん

見て♡仕上がり
あ…！完璧
ありがとうございます
そんな…
やだやだ
やっぱり年上が好きなの～～～!!?
よかった——ひかるちゃんの時計♡
その頃 警視庁 取調べ室では——
何を言おう俺も年上が好きでねえ♡
黙秘してろデブ

DOLLGUN


尋問中止!!?
マリオネット幹部は時機をみて国際警察に移送する
長官級のレベルから指示があったらしい
せ…政治介入…ッスか?

…どうも……この事件の裏には危ない陰謀がありそうだぜ


残念…
あの女幹部ともっとお話したかったのに…

――さて…
キナくさいムードになってきた
やはり封書をワルビーに託したのは正解だったな

第54話
ワルビー強襲!!

ちょ…
ちょっと待って…
スカーレット♡
純坊♡
ハイ純くん
ドドド…
—ハイあ〜〜〜ん♡

そんな食べきれないよ
納豆パン食べたばかりだから…
明日退院なんだから残しちゃうともったいないよ
—で次の遺産とか捜していくメドはあるの？
！
きっきと片づけてね次の果物切っちゃったから
ナギサさん〜〜〜

手掛かりはある！
リンドロンドに
聞いた名前——
オットーとエルフマン！
この名前の正体がわかればドールガンの秘密に迫れるハズなんだ
オットーと
エルフマン
——そうだ！ナギサさんはご存知ではないんですか
——いえ…ナギサお姉様
お姉様！
お姉様？
もっと言って♡何でも教えてあげる！
お姉様♡
ヤバイ
ひかるママ扱いやすすぎる！
お母さーん
……
その名前の正体は——
お姉様——
ゴメン！私じゃわかんない♡
タチ悪いおばちゃんやな～～～
ハハ
ゴールドさん！
え！あのゴールドさん!?
ううん！ゴールドちゃんじゃなくてゴールドさん！
？
？

ゴールドちゃんこと
ゴールデン＝グレース
の父君
ゴールデン＝
ゴージャス3世
よ!!

そ…そういえば
ゴールドさん
父親を捜してる
って言ってた
え

じゃあ
行方不明って
わけ…か
……難し
そうね
世界の中から
人ひとり捜す
ワケだもんね

ねえ じゃあ
いっそのこと
カルダ島に
行ってみるって
どうかな?
え…?
カルダ島って
地中海じゃ…

ドールガンの遺産を追って…
世界へ——!?
え
あ！ それはダメよ！
カルダ島は
あなた達には危険すぎる
え…
それって……
時間よ みんな学校に遅れちゃうわよ
あ…
純坊 待ってて 行ってきます
あ

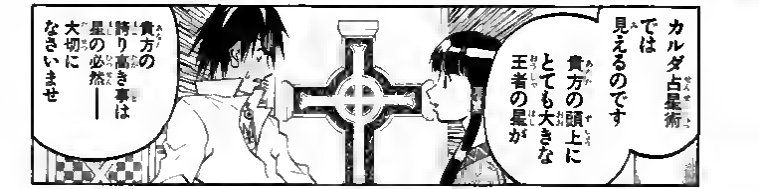
お…
あの…れ…
おのれ 善純太
くらえ…俺の 悪ビ…
ガッ
はア…ッ…
あアあ
！
あ♪ よかった 気が付きました？
おまえは…!?
あの時の占い師!!
おはようございます

な…なんだ?
どうなっている
あの時! 俺は
西純太と戦って
地下に落ちた…
それから
どうなった?
——あ
その後…ゴールド様に
助け起こされ…
そうだ!
ゴールド様は
どうなった!?
お連れ様でしたら
ニュースでは
警察に捕まった
との事でしたが…
な…
ガーン
なんだとぅ
お助けに
行くッ!!!
あら…
無理はいけ
ませんわ
——!!
ポケットに
何か——?
こ…これは
ゴールド様の
封書——!!
Gold
これを俺に
託されたのか?
まぁキレイ
水路を流れて
いらっしゃった
のに…
フン… 俺の
胸ポケットは
通信用に
耐火防水加工が
されているのだ
ずいぶん
古い写真
だ
ス…

うぐぐぐん…
人が3人
写っている——
いや4人か…
知らん顔だ
いったい——
誰なんだ？
ゴールド様は
何故この写真を
俺に——？
あら 私
知ってますわ
教科書に
載っていた
顔ですもの
確か——
ブ……
しまった——
なんたる迂闊！
ゴールド様の密書を
女に見られて
しまうとは
この
きゃっ!?
くッ
恨みは
無い！
だが
秘密を漏らすなと
ゴールド様に
申し聞きできぬ
のだ…！
おまえを
殺す

う…
包帯!?
これは――
そうだ
俺はこの女に
救われたのだ
愚人を殺すなど…
いや 驚かして
…悪かった…
い…今
見た事は
忘れ…ろ…
いや…そのスマ…

いけません!
私のような者に
頭を下げるなど
貴方の宿星に
逆らう行為
なに?


カルダ占星術では
見えるのです
貴方の頭上に
とても大きな
王者の星が
貴方の
誇り高き事は
星の必然――
大切に
なさいませ

でも…
もし
いつか誰かに
友情を感じ
「ありがとう」の
ひと言が言えたなら
王者の星は
もっと大きく
輝くことでしょう
な…
なんだと!?

ニュースの時間です
拘留中の外国人犯罪者が脱獄自殺を図ったもようです
ゴールデン＝グレース容疑者
先日逮捕された犯罪組織の幹部です――
ゴールド様！
ゴールデン容疑者は悪し持っていたヒ素と思われる毒を拘置所内で服用
現在心停止状態で病院に収容されたとのことです――
――あら？純太さんが入っている病院？
クッ…どこの病院だ!?
ご案内しましょうか？
な…何!? 知っているのか？
わ…ッ!? 何してる？
少々お待ちくださいね
占い用の服では町に出られませんので着替えます
少し後ろを向いててください
あ…
あ…あ…

パサ
♪
お待たせしました
まいりましょうか♪
あ…ああ
急げ！
早く
心停止だったハズが…動いているッ
急げばまだ間に合うぞ!!
ハア
ハア

……
フフ…
おあつらえむきに
なってきた
ようだな…

お覚悟を…
ゴールド様

……なんだ?
邪悪な視線を感じる!
誰かがこの病院を狙っている!?
誰だ!?
あれれ!?

わ…っ!?
ひかる――
…いったい?
どさっ
わ～～～っ
――私を
奪って…
快盗
スカーレット
ダ…ダメだよ
ひかるを
奪うなんて～
快盗スカーレットは
ドールガンの遺産を
奪う人でしょ?
私だって…
ドールガンの遺産
なんだから♡
ダ ダメ
肌の香りに
目が眩む～
ええっ!?
もう!
私の宝石に
触らせて
あげる♡
わ――♡
それは…

あっ…ッ…！
あァ——んッ♡

ガタゴトッ
嬉しい♪
また会えたわねドールガン♡
ああ…ボクも嬉しいよナギサ♡
それにしても相変わらず大胆だね

そんなに抱きついたら
純太くん 目を
覚ましちゃうよ？
あぁっ♡
いい香りだぁ
ひかるちゃん
大丈夫♡
しっかり寝かし
つけたもの——
今頃 いい夢
見てるわよ♡
きゅっ

私がこんな事
するのも
ドールガン
あなたに
お願いが
あるからよ
!?

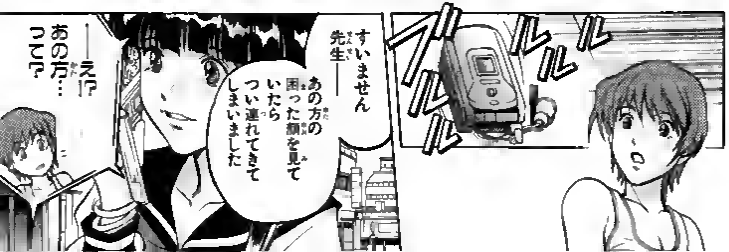
やっぱりちゃんと
ひかるに会って
あげて欲しいの
ひかるだけ
じゃないわ
レティシアや
ネーナや
テュッティにも
女のコにとって
父親って特別な
存在なんだから
父親と
して
それに
あなた
だって…
いいかい…
ドールガンという事の
歴史は カルヌ島の
大虐殺から始まった
虐殺者の娘で
いいのかい？
ひかるやみんなが
だーかーら！
それってぶっちゃけ
ウソでしょ!?

ウソにできない
理由がある
わかってくれよ
ま――!
フン…
今は
いいわ!
あなたの秘密も
オットー・エルフマン
の謎も――
きっと
この純太くんが
暴いてくれるから
聞きわけの
ない人は
つねってやる!
こ……こら
こら~~~
ぎゅ
ぐりぐり
暴いよ
ひかる
そこもうねっちゃ
ダメだトコ♡
フ…
そうなったら
その時
考えるさ…
信じられん…
心停止状態から
移送中に
回復を果たしたと
いうのか!?
と本の証拠は
出とらんだろ?
とにかく
厳重監視!!
POLICE
POLICE
むくっ。

なんとか…
監獄からは出られたようだな…
毒耐性
ゴールド家に伝わる毒素を中和する力——また役に立ったな…
——さてここからどう抜け出したものか
ガッ!
誰だ!?

ぎゃっ
ぐわっ
なッ…キサマ動くな
ぐわアあ
オイアアイ！
ククク

お迎えにあがりましたよ…
ゴールド様!!


すいません先生——
あの方の困った顔を見ていたらつい連れてきてしまいました
——え!?あの方…って!?

悪…
ビーム!!
うわふあああ
お助けします
ゴールド様
ワルビー見参!!
純太くん
純太くん
出番よ!
ああンもォ
事はすけ
なんだから
この人 自分で
一般堂って
なかったっけ?

え――ッ！
DNN
あのゴールドが純太の病院にかつぎこまれた――!!?
搬送された容疑者はゴールテン＝グレース！
ゴールドの父は遺産の秘密…ドールガンの謎を知る人物だ
――これは逮捕されたゴールドに接触できるチャンス！
行こう！
何かが起こる――純太!!

第55話
影の騎士団

デルデル
なあに？
ふフ…
ウフフ…
あのね
…純太…
起きろ――!!!
わ――っ!!?
なッ…
何ですか!?
やっと
起きたわ
この病院に
ゴールドさんが
かつぎこまれた
――!!?
!
あの煙は!!?
ゴォオオオ
何だって!!?
マユカさんによれば
ワルビーって人が
彼女を助けに
飛びこんできた
みたいなの
ゴールドには
聞きたい事が
ある
ワルビーとは
決着をつけるー

俺！
行くよ
あ…
ドールガン
治ったばかりの純太くんにケガさせちゃダメだからね！
やれやれ
イイ女ほど無茶な注文を言うものさ
それにしても…
ナギサさんにいきなり起こされたから
な〜んかイイ夢見てた気がするんだけど思い出せないぞ!?
?
?
?
何だっけ——？
ゴールド様？
お迎えにあがりました
おや？
ツァファイアおまえか…
まぁイイ…ご苦労！

――で
遺産の首尾は？
ソールフは怪盗スカーレットなる者に横取りされた
我々はこれにて帰還する
い…いやソールフではなく…
それ以外……
それ以外？
宝箱の中にもうひとつあった事何故知っている？
く…
写真だ！
鍵を握るあの写真を持ち帰らねばならん！
今回は〝奴〟も呼んでいる
奴にあの御方へ変な報告をさせるワケにいかんのだ！
――まあ潮時だろう
囚われの姫を救う勇者にしては無粋だったな
!?
悪党は女を知らねば墓穴を掘るぞ？
な…
う!?

！
ぐぉおッ！
こ…これは
催涙ガス！
くッ ゴールド奥歯にカプセルを仕込んでたのか
少しキツめのを調合してある…私にはその手の薬剤は効かんのでな
こッ…このオ
うッ
ぐぅわアアあア!!

学園祭当日朝
本部のニッケル殿より
極秘の連絡があった
あの日 ワルビーと
別行動をさせたのは
貴様が"奴等"の
スパイとわかっていた
からだよ
シュル
キュッ
クッ…
油断した
……ッ!
おのれ…
ゴールドぉ
オオオ…!!
あのバカ
派手にやって
くれたな
だが
おかげで
重要とは
ハチ合わせせずに
すむ
あ
ラッキー!
ゴールドさん
捜してたんだ
西純太……!!
ええい
また
厄介な奴と…

頼みがあるんだ…
一緒にゴールドさんのお父さんを捜さないか？
俺達——G＝ゴージャスさんに聞きたい事があるんだよ
！
な
…なんだ…と!?
ここは…？
看護師待機所
フム…この別館は重犯罪者を監視するための病棟か…
警官も常駐させてるようだ
着替えさせてもらおう
ちょっと後ろを向いてもらおうか
あっ
ハ…ハイ…
警官だ
こっちの部屋へ…
ガ…
よし
服があった

ぷにゅ
…シ
ンッ…
これは…
一番大きい服で…コレか…
——さて
一緒に父を捜してくれるなんて…嬉しい事言ってくれるじゃないか♡
ぷにゅ
わっ
うわ…あ
柔らかくて……
花の…とてもイイ匂いがする——
うわあ
日本人用の服がかわいそうな事になってる——
気持ちよすぎて
凄が…あふれて
あふれて…
あふれて…。
あれっ!?

わあああ
目が…
熱い～～～
さらばだ
目は洗った方がいいぞ
純太くん
わかったぞ！
！
やっぱ！
キミってホント年上の女に弱いよね♡
しょーもない事に気付くな――っ!!!
フン…小僧め…
一緒に父を捜そう…
…だと？
戯言を!!
くっ…
そ――お
どこ行った!?
こっちか!?
誰だー
わッー
これ…

！
あァ
茜純太ァ
ワルビー！
貴様は！
イイぜ
純太くん
倒す!!

くッ！
この…
邪魔するなッ
俺はゴールドさんに頼みがあるんだよ！
オイ!!!

――こいつ…
攻め手の鋭さを増している…
わずかな間に腕を上げた――
だとオ!?
くッ
しまった
その程度かァあ!!!

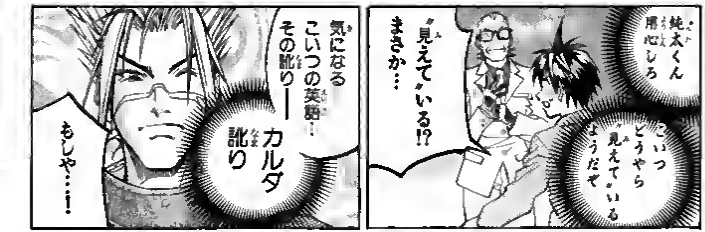
貴様ごときがゴールド様に注文などとは軽口にして増長ー
ワルビー!! カンダル 断じて許さん!!
くッ…

やはり
難敵だ――
しかも前と違い
ビームの乱射を
止めて スキを
作らない戦い方!
だが!
こいつを倒さなきゃ
ゴールドさんには
辿り着けない!!!
くそ… せめて
あの影視を
マスターできて
いれば
ぬ!

あれは!
ゴールド様
反対側の棟に
移動してたのか
裏口から脱出?
ここを通したら
オットーと
エルフマンの縺に
辿る手立てを
なくしちゃう
――あッ
待て!
うるさい

わァあああ
悪ビィィィィム!!
くッ…
そぉおオ!
純太くん
気を付けろ
後ろから来るッ!!
今の技が
ワルビー君か
すると…キミは
シェネラルト君?
ガッ
!?
あー
——天敵
シェネラルト君は
いなくなったン
だったな
HA
HA
HA
?
?
まったくネ
ボクは物覚えが
悪くて……

だが まあ
ツアファイア君の
邪魔になっても
面倒だ
キミの相手は
私がやろう


純太くん
用心しろ
こいつ
どうやら
"見えて"いる
ようだぞ
"見えて"いる!?
まさか…
気になる
こいつの笑顔…
その訛り――
カルタ訛り
もしや…!

ゴールド様
ワルビー!
よくきた
フ…

うおッ
ツァファイア!?
どういう事だ?
そういう事だ
なる…ほどな
フフ…
フハハ
ワルビー
そいつは
裏切り者だ
地中海よりの
スパイなのだ

ふざけんじゃねェッ!!
おっと
クッ
何イイ!!?
ワルビーキミはなかなかの戦士だがボクには通じない
敵の攻撃心理を読み取る力を持つこのツアファイアにはな!!
くウォあアッ
——さて行くよ少年
あッ…!
な…!?なんだこいつ
回り込まれるッ!!?

ダメだ…
俺の次の動きが
読まれてる…
いや…
俺の…
戦おうとする心が
読まれている!?
これも
影視の一種だ

戦いの中での
認識力を高めて
いけば 直感が
敵の心理をとらえる
ようになってくる
キミが初めて出会う
『影視レベルB』の
戦士だ!!

ついに
こいつらが
動き出した…
十字軍の時代に
起源を持ち
その構成員の全てが
影視を体得する
秘密結社ー
くっ…くそッ
おまえら…
いったい
何者だッ!?
私達は
歴史の影を
操る者
魔神の爪と
あだ名される
影の騎士ー

カルダ
騎士団(きしだん)!!
!

――5日前(かまえ)――
――ハッ
ここは…!?

ナギサさん――!!
――そうだ
俺は純太との闘いの傷を癒すためこの人のもとに身を寄せて…

ずっと看ていてくれたのか
チチチ
あ!?
リンがいない?

手紙?
ちりがとうナギサさん――出発の前にひとうだけ書いたい…

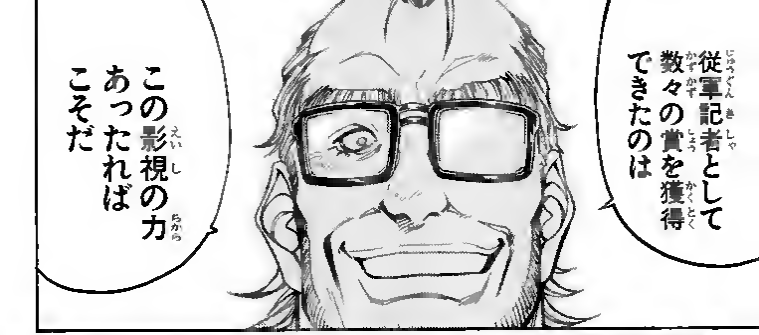
純太とひかるはドールガンの謎を追うだろう……
それはイイ――
だが　その過程できっと「あの鳥」が気になるハズだ…
決して
カルダ島に
行かせるな!!
悪魔の騎士団に護られたあの鳥…
彼らには無理だ
カルダに
近付けるな!!
第56話
悪魔との再会

やだ…なんでリンの手紙の事思い出しちゃったのかしら…
なんとか純太くんをゴールドちゃんに会わせたかったけど…胸騒ぎがする…
ワルビー様…
カルダ騎士団!!
ゴオオオオ
だとォ!!?

カルダ騎士団――
十一世紀――
十字軍戦争の舞台となった
地中海の要衝・カルダ島において
文化の融合と果てしない戦争が
無数の傭兵集団を生んだ――
絶大な戦闘認識力"影視"を
持つカルダ騎士達は
味方につければ戦況を決定
づけると言われ
それは現代にも影の力と
して伝わったのだ――!!

カルダ騎士団…
かつてはマリオネットと
反目していたが…
今は暗黙の
不可侵条約が成立して
いるハズ…いったい?
そうだ―― たしか
マユカさんの話に
出てきた名前だ
カルダ騎士団
とにかく
このワケわかんない
おっさんを突破して
ゴールドさんに
会わないと
ほほう

この私を突破してゴールドに会う？虫がイイね？
な…なんだ読まれてる？
それが影視レベルBだ！戦いの心理を読んでくる！戦りにくい敵だ
Cレベルの影視も不安定な純太くんには二段階上の相手になる!!
くッ…
何言ってんだリンドロンドや鬼平先生よりは格下だろ!?
そんなのー
フフ
おっと…
うっ
え…!?
うわっ
な…なんだ!?あんなゆっくりかわされて
あんな遅いキックが当たるなんて
フフ
——ふう少々疲れたネ
まあ私は戦いが本職じゃないので
鍛えとらンからな


従軍記者として数々の賞を獲得できたのは
この影視の力あったればこそだ

こいつ…俺がどう動こうとしているのか完璧に読んでいる！
読んだ先の動きを狙うから遅くても当たる！
いや！まるで動きの先に置かれた拳に当たりに行ってる感覚だ

こんな…
くっそ～～～ワルビーの奴がここら辺のガラス割っちまってSOULFも撃てないドールガン！その中から撃てる？
時計の銃はSOULFを撃つには小さすぎるよ
スッ
感じで！
ん～～～何を撃つンだって？
聞かれた!?
撃つといえばこんなのもあるの忘れてたよ
銃！

ぬ!?
わーっ!!
パン
パン
パン
消えた?
うーん
な!?
痛アー
ワルピーのビームが開けた穴に落ちた――!?
わこの!
今だ!
悪運の強い奴だ…
貴様がカルダ騎士団って所のスパイだとか
狙いとかンな事はどうでもいい
だがな

ゴールド様を
騙す馬鹿は
許さねェ!!!
フン
ワルビー!

ほう……ワルビー
怒りまかせの攻撃に見えて
俺をゴールドから
遠ざける戦い方
ビームを捨て
肉弾で挑むのは
その方が戦いを
コントロールできるためか
以前とは見違えたな……
――だが！
このツァファイアに
接近戦を挑む事
最大の愚行!!
プラズマ球炎（バーン）

ファイアウォール!!
ぐあアッ
おおおおお
チッ…トドメをさせなかった
ん?
!
なッ…
何イ!!?
逝けよ地獄――
落下して射程距離をとった!

悪(ワル)ビィイーーム!!!

おォお!!

命中!

どうだ!?

……フ
フフフ
なんだと!?
かわした!?
このツァファイアには撃つ前に貴様の狙いがわかる—
その戦斗センスと右手の大砲は素晴らしいが—
影視持つ者と持たざる者の間には埋められぬ差があるのだ!!
—さてゴールド様?
ぬッ…いない!
チィ…時間稼ぎをされたわけか!
ワルビー上手くやれよ…
あ—っゴールドさんお〜〜い
うわ
またこいつか!

——いや 今は こいつまで敵に している場合では ないな…!!
教えてよ〜 カルダ騎士団って 何者なんだ? 目的は?
何? 他にも いるのか?
奴等の目的は〝写真〟だよ
貴様が開けた ソールフの宝箱に 我が父の封書が 隠されていたのだ
な…!? 写真!? あの写真か! しまった…あの時 盗りもらしたのか!
まずいな それはヘタな奴に 教えんぞ
そっちは どんな奴 が?
変なおっさんで 心を読まれて…
心を読む か それほど万能とも 思えんがな
え?
貴様にかがせた 催涙ガスが あったろう
アレはその前に ツァファイアにも 喰らわせている
あ…
え?
心を読むなら かわせるハズ—— …だが効いた 何故だと思う?

全く未知の攻撃は読み切れないという事だ…!!
心を読むといっても限界があるのさ
そうか…さっきのあいつもSOULFの事は理解してなかった…!!
ゲールドさんあったネイ!
えーいなっくなっ!
とにかく
上へ!!
キミは
——おっと
!
たしか…ワルビー君?

ツァファイア君に聞いたンだけどね なにしろ私は物憶えが悪くてね
クス…
誰だ!?
貴様もカルダ騎士団……か?
――なんだ? 妙な印象がある奴だ……
…どこかで?
待てよ…
!!

ウォオおお
カァーーアッ!!!
！
なっ…何!?
ウォーカー!?
貴様 いったい
何故この私の
名前を――？
ぎょっ

うわアあっ
なっ…なんだこいつのスピードは!!!
ウォーカー…貴様のような下衆がよくも生きて俺の前に現れたな
十年前…アフガニスタンで自分が何をしたか言ってみろォ!!!
ア…アフガン？何の話だ？
あいにく私は物憶えが悪くて…
とぼけるなッ
通信記者の貴様は戦場の取材パスを得るために…
ルビー鉱の情報で俺の故郷と俺の父を売った!!
貴様は父の仇だ!!!

死ね!!
ぬわアあッ
恐ろしい大砲だ……だが見た!! 見た武器からは私はかわす事ができる
バカめ…!! 逆上して撃ってしまったな
フハハ! 思い出したよ 山のおだ! あの素材で初めてビューリッツァ賞にノミネートされたんだよ 私は
もっとも受賞は逃したからお父さんは犬死にだったかな?
ブッ殺す!

どこに向かってるんだゴールドさん？
屋上だ
私をここまで搬送してきたヘリがある
一気に脱出だ
おっと…！どこに行くんですゴールド様
ツァファイア
II
やれ！
ああッ
くッ…

あ…あッ
くぅ…ッ
ゴールドさん
くく…
これでお姫様はGETした
あとは邪魔者を退治するだけだ
茜純太　このツァファイアが相手する

第57話
ワルビーの涙

クッ…
ゴールドさんー
——さて
急がねば…
ここは警察が
極秘に利用する
重犯罪者隔離病棟…
——警官達はあらかた
片付けたが——
長引けば
面倒な事に
なる
ゴールド様
——いや
ゴールド！
写真はどこだ!?
言えッ
写真ー
さっき
ゴールドさん
も言ってた
ヤツか
いったい
どんな秘密が!?

ギッ
クッ…貴様などに渡さん…!!
おっと――その捕縛術、喰らわれない方がいいですよ?
グッ
な!?
ビリ
くうッ
ビリ
ビリ
ビリ
はアッッあッ!

ゴールドさんー
ならば！
雷をあててやる
うッ
捕縛具にはすべり止めの鮫皮加工が施してある
もがくほど服を破り肌に食い込む
あなたの武器は地味に厄介だ…だが——
一度見た攻撃は影視レベルBで先読みできる
連れていけ
は
待て
おっと
貴様の相手は私だと言ったハズだ
フフ
何かと邪魔をしてくれたがこれまでだ！
くッ

このオ!!
叩き潰す!
ウオー
カぁア!!!
わッ…
ドドド

待て!?
貴様の真正面てそこなんだ!
壁!?
うわッ
構えを崩した!
くゥ…
これで後頭にヒットだ

ぬお!?
こういう事か!!

闘いにおける認識力を高める事で敵の神経命令を察知して先の行動を読み取る…それが影視レベルB!!
――だが それでも おさえられぬ攻撃を 今 ワルビ!!は 見せていた――
奴の行動力が影視を身につけた私の認識力を超えているだと!?
ありえん!
蹴る!
うわッ ドコだ!?

ぎゃッ……！
ドシュア
なんて奴だ！
ガシュッ
完璧に心を読んでいるハズなのに…
攻撃は予測を外してくる！
くッ
ガッ
得体の知れない怪物だ！
ちょうどその時！！

もうひとりの男も謎の脅威を味わっていた
こいつめ……！
プラズマ炎（バーン）
うわぁアッ
かわす！
――でついでにキックだー
な!?
なんで考えるのが後なんだよ!?

ゴールドさんのヒントで気付いたんだ
ツアファイアは操影術を知らないー!!
影視レベルBでは操影術に体を預けた状態の俺の心は読めないハズだ!!!
それにしても ひかるの時計 役立つなぁ
き…貴様! なんだその余裕ー
戦いながら女の妄想でにやつく等と!
ヒミョーな誤まれ方されてるツー
フフ それだけじゃない…
純一太くん自身はレベルC未満だが
リンとの戦いで見た世界はまぎれもなく影視レベルS以上のバトル
戦いとは格よりも経験がモノをいうものだ
バカなこいつら格下のハズが…

異能をもつて
絶対的だつた
ハズの差を
埋めている!!
しめた!
ガラス窓で
射線が取れる
SOULE!!
わッ!?

ヘリが!!!
あ…
勝負は預けたぞ 西純太
しまった あの中にゴールドさんが…!?
お…おっとあの音！ ゴールドを連れ去るヘリの音だぜいいのか？
何ッ!!?
!?
ぬおおッ

ふう…
危なかった
だが俺が奴の
〝仇〟って事は
利用できるな
ウォーカー!
八つ裂きに
してやる!!
ツァファイア
待て――
あ!
ヤバ…!
こんな時に
またこいつと…
どけー
おまえと戦っ
てるヒマは
無い!!
な!?
何ッ!?
こいつなら
あのヘリを
止められるん
じゃねーか!?
ま…待て
休戦しようぜ
ゴールドさんを
助けたいんだ
ま…待てよ?
何イ!?

俺もゴールドさんのお父さんを捜したいんだ！
ゴールドさんはツァファイアにヘリで連れ去られたんだよ
なるほどいいだろうこの状況では是非もない
あのヘリの音か…何か建物の周りを捜してるような…
な…なんだと!?
そうか！ウォーカーだ ツァファイアはウォーカーを拾ってから逃げる気だ
ウォーカーってあのおっさん…!?
ウォーカーは俺の父を騙し…殺したー
絶対に許さん必ず殺す!!!
！
待てよツァファイアがウォーカーを捜してるとしたら…
ウォーカーを倒しちゃったら逃げられちゃうんじゃないのか!?
ウォーカーはどこだ!?奴を捜せ！
待て……！先にヘリを：ツァファイアを倒すんだよ
バカ野郎！ウォーカーに逃げられたら敵の思うツボなんだよ
バ…!?何言ってんだ頭冷やせ!!

この野郎
おまえ
ゴールドさんを助け
たいのか　親父の
仇を討ちたいのか
どっちなんだよ!?

な……
んだとォ!?
わッ
おまえに
言われる
までもない
俺は…
銃声!?
ゴールド!
写真のありかを
言え――ッ!!!
何ィ――ッ!?

ゴールドさん――!!!
パァン
チェイン

いいかげん
しゃべったら
どうです
ゴールドさん
写真の
ありかを

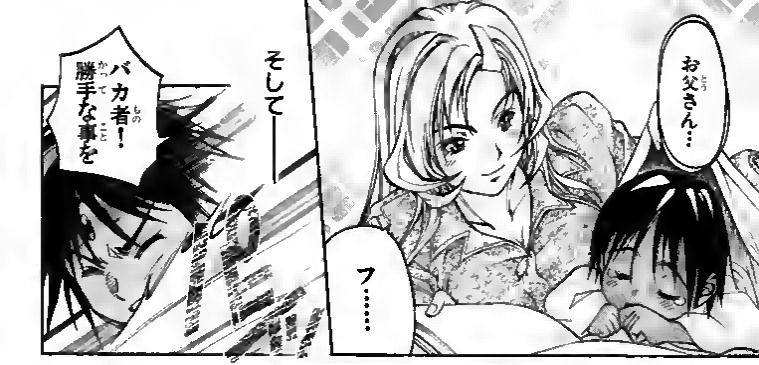
ウォーカ
アアア!!!
貴様!
バーバカ
ワルビー
来る…な
純太くん
止めろ!
ダメだッ
ワルビー

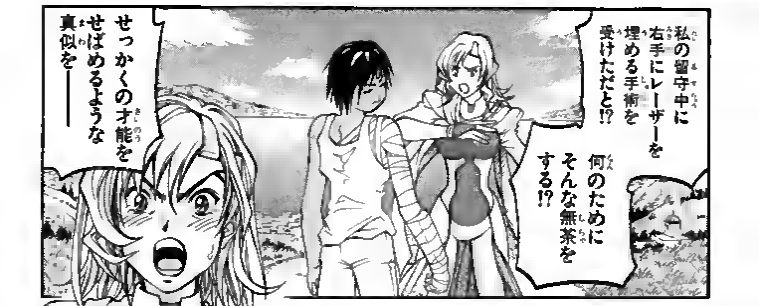
!
ワル…

やれやれ
カルダ騎士団ともあろう者が女ひとりに手を焼いた
後は帰って尋問するか……
死ぬまでな
フフ…
ま…
待て
〝写真〟は俺が持っている
!
ぐ…
か…
〝写真〟やるから…
ゴールド様…放して……

ゴールド様を殺さないでくれ…ッ
頼む…
フーン…
親の仇に命乞いなんてするのかね
ワルビー!!

ずっと昔から…
誇りよりも
大切な
絆があった――
どうした?
その
あ…
あの
あ…この本
字が読め
なくて…
なんだ…
貸してみろ
あっ…
――え!?
――その時 アヒルの
キーロウが広げた
その翼の美しさに皆
時間が止まったように
驚いていました
――でも
キーロウの
お父さんだけは
わかっていた
のです――
息子よ
おまえは
本当は白鳥
だったのだ


お父さん…
フ……
そして——
バカ者！
勝手な事を


私の留守中に
右手にレーザーを
埋める手術を
受けただと!?
何のために
そんな無茶を
する!?
せっかくの才能を
せばめるような
真似を——

この力で——
何ッ!?
ゴールド様の
お父上を捜す
お手伝いをする!
バカが…
くだらん事ばかり
ハッキリ言うように
なりおって…
…付けた物も
外せまい…
来い！

第58話
撃て!!

写真は俺が持っている…！
ゴールド様を返してくれ……!!
そうか…奴が持っていたのか
なんとかうまく写真を奪わなくては…
バ…バカ…フルピー
それは…
ちくしょうフルピー
俺に…出来る事は！

ツァファイアー
こうたーい
！
そうだ 純太くん！ 敵の強毒をひくんだ…
は！
かまわん 撃ち込んでやれ
え!?
ガシャ
シュッ!!
わーっ
この！
む… 無茶にならん程度に…な
わァあああ!!

うまく下に逃げたね
くっそ――!!
おびき出して今度こそSOULFをツァファイアにくれてやるつもりだったのに!!
!
なるほど妙手だ――だが…
ハアハア
くそ ベランダのひさしが射程だ
階段ちたいで ここからじゃヘリがSOULFの射界に入らない――どうする!?
ちくしょう…
腕が…上がらねエ…
出血で…気が遠くなる
――よし! 奴はビームが撃てなくなった 騎士兵ども降下して写真を奪え
は!
我々が行くく方が良いのではないか?
私やあなたが行けば逆上して思わぬ力を発揮するやもしれん
あれはあなどれん男だよ
バババ

ブツを出せ！
"写真"を確保しました！
くっそ――ツァファイア…
うわぁっ
この鳥渡じゃひさしが邪魔してヘリがガラスに映らない――
おまけにワルピーと写真の状況もわからない……くそっ――
ツァファイア君もう少し…その近寄れないかね？
？
私を仇として狙う男が苦しんで死ぬところが見たいじゃないか
…さあ…ゴールド様を返して…
フフ…
!?

ゴールド？
何の話だ
ぐッ
苦しめて殺せと
ウォーカー殿の
命令だ
な…なんだと～～～!?
ヤロウ…
俺の死に顔を見に
近付いてきたってのか……ソ!?
くッ
なるほどな
ククッ
素敵だよ
ワルビー君
素晴らしく
みじめな
表情だ
クッ
ワル…ビー!
そろそろ
死ぬかい
ゴールドと
一緒に

バカめ!!
てめえらの約束なんざ!アテにしてねエよ
何ッ…!?まさか
ズドン
あ!
――解けた!!

ゴールドさん
ワルビー助かったー
しまったッ！接近しすぎたというのか!?
おまえも脱出しろ!!
くそォ……！そうはいくか
もう何でもいいワルビーを殺せ――ッ
は！
！

なめるな！
我ら騎士兵は
影視レベルC！
貴様などに
肉弾で遅れを
とるかーッ
くっ 出遅れ
体が動かん
ファ
ファ
やった……！
落ちろー
あ…

ワルビー!!
はッ!?
その時
純太の全身は
ひとつの閃きに
包まれた
SOULFで
助けるー
今なら奴を
SOULFで
撃てる位置に
捕えている…

あれほど戦って
一度も捕える事の
出来なかった
強敵を
!!

ワルビー！
壁(かべ)をつかめ——ッ!!!
SOULF(ソルフ)!!

ドクン
――なんだ？
どうした？
体が動く
力がこもる

目の前に
敵がいる！
うわ…ッッ
しまっ…
うォわァあ
俺の怒りを
光に変える

ワルビー
撃(う)て!!!
ひ…
悪(ワル)ビィイイム!!!

ギャあアアあアア

や…やった…
ハァ
ハァ
よー
やったなっ
茜純太!!
くッ…何故だ…
俺の体はこいつの声に
反応するように
力を得た……
…そうだ
俺は――
力を得た!!!

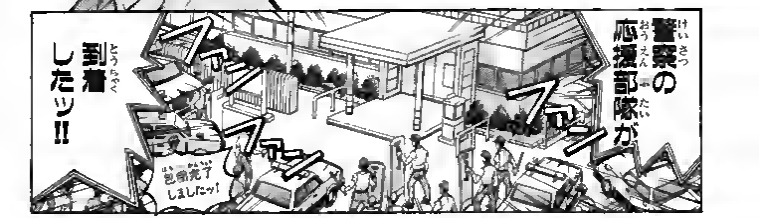
なんだ?
心が熱い…!
温もりでもない
怒りでもない
この熱いモノは
なんなのだ!?

感じる…!!

第59話 新しい絆

ヨロッ
――う！
くっ…くそ
出血が…
お…おい
大丈夫か!?
クッ！
休戦は終わりだ
貴様と俺は
敵同士！
何やってんだ
バカ！
無茶すんな
うおっ…!!?
くそ…！
こうなったら
ウォーカー殿に
代わり
我々が任務を
遂行するッ!!
何!?
そうだ！
〝写真〟を奴等が
持っている
――おい
待て
おまえら
この日本で
好き勝手やるん
じゃねえ!!
!?

お…
鬼平先生
――!!!


警察の
応援部隊が
到着
したッ!!
包囲完了
しましたッ!

ああっ…!
鬼平先生の
もみあげが…
リニューアル!!?
ニヤ
ニヤ
く…くそ
警官に包囲
されたのか…
あー やばっ
先生に見つかったら
大変な事に…!!

バカな鬼平
そうじゃないッー
なんてセンスが無いんだキミは――!!
こうだろ――こう!
そのもみあげキミに任せたボクが馬鹿だった!
真・良い鬼平
好きに切れって言ってたくせに…
脱出だ! ワルビー
俺の肩につかまれ!
なめるな警官ひとり…影視レベルCのカルダ騎士兵の敵ではないわ!
ミシャイン
ン――?
ずきゃっ
雑兵が吠えるなッ!!

サムライの国に達人不在とでも思ったのか
ン？これは……？
く…くそ！写真が警察に渡ってしまう…
ゴールドさん！ダメだよ もう逃げないと――
あっ
う…ッそうか――ワルピーの優が!!
ここは…やむを得ん――!!
脱出だー
あッ
いかん…
包囲されている！
ダメ…
逃げられない――
ゴォッ
！

ヤギャギャ
ちょっと待ったーーーー!!
怪盗スカーレット一家く見参!!
あ…アンドール!
うわあ まだステージ衣装で変装をーー!
それじゃスカーレット一家じゃなくて
スカーレット一座だよう…
ゴールド乗って!
くそーー待てッ…

純太!!
ひかる!!

待…
うオっ…
ボ、ボボ
ボボボ
悪いわね！
ゴールドは
怪盗
スカーレットが
いただいたわ!!
ふう…
結局"写真"は
宝平の手に
落ちたか…
まぁいい
他の知らん奴に盗られ
どこかに消えるよりは
なんとかなる
仕方がない
あの写真は本来
ボクが処分しておく
べきだった…
逃げられた
だと!?
またしても
ヤツです
怪盗スカーレット
です！
怪盗
スカーレット…
くッ…
その名を聞くと
頭の中がモヤモヤ
してくる…
あの学園系の時
地下に突入して
からの記憶が
あやふやだからだ
▲まだこの人 記憶を消されてます!!
手がかりは
この写真…
しかし…

この写真にどんな意味が？
このおっさんは確か……アレだよな
その写真には有名な歴史上の人物を含めた4人の男が写っていた…
一見しただけでは普通の人にはその写真の意味などわかるはずもなかった
——だが……
ん——
ん？ いや待てよ…
これ…は
これは！
まさ…か
はああ
しまった…
お…ッ…
お…ッ…鬼平警視——!!?
これ…は
専門家に…見てもらう必要がある——
——教えてゴールド
私達も知りたいの
あなたのお父さんの行方…を

……
れ…礼を言う…
礼なんていいわよ
ライブ以降服の思いきりよすぎじゃない？
そ…そんな事ないよ！変装しないとダメってレティシアが…
――って
そんなしっくり見ないでよ！
わ…わ…
ゴメ…
フム…
大丈夫
やれやれ
まさかおまえ達に助けられるとはな…
いいだろう教えよう
15年前我が父ゴールドはドールガンの遺産を隠す旅に出た
多くの遺産は無事に隠す事に成功したが
多くの敵は宝を狙って現れた…
ある日ついに父は捕えられたのだ…

父ゴールドは
カルダ島に
捕われている
例の〝写真〟は
その父と交換にすると
カルダ王が言ったため
必要だった
！
俺がカルダ島に
潜入して取り
返してくるぜ!!
ワルビー!
――だが
失ってしまった
モノは
仕方がない
別の
交渉手段を
考えるさ…
バカめ!
カルダ騎士団を
甘くみるな!
ツァファイアや
ウォーカーなど
しょせんは
スパイ要員…
本物のカルダ騎士は
まったく別格の実力を
持っている――
そんな
モノ!

俺は…ゴールド様の父上を必ず取り戻す…!!
あの日の誓い決して変わる事は無い!!!
この人…!
そりゃいいなワルビー!
俺も手伝うぜ!?
純太!
な…!?
なんで貴様が手伝う!?
足手まといだひっこんでろ
なんだとォ!!!
はあ!?
俺は時々影視レベルCなんだぜ!?
なんだ"時々"って!?アホの見本かよ
その
うるせえこの願意ビーム
な…な…なんだとォ
やめ――っ!!!!
ひかる…
今――キミが言った事はいつか純太が私に言ってくれた事と同じなんだよ
お父さんを助けるんだ――みたいな事
だから――ケンカはやめなよ

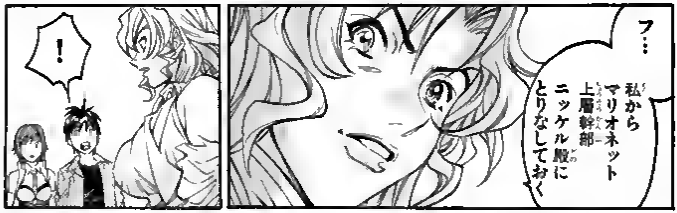
せっかく
二人――
友達に
なったんだから
ビリ
な…
ちょ…っ
…おま…
ちがっ…
一本取られたな
ワルビー
まぁ今回は
茜純太に
世話になった
礼くらい
言ってやれ
はっ…
う…
あ…
あり…か…
!?
ガキッ

誰が貴様に礼など言うか!!
ぽか――――――――ん…
そのかわり!
ひかるやアンドールにはもう決して手出ししない!!
いや! 手出しする奴がいたらブッとばしてやってもいい!!!
!
まあ!
ゴールド様まいりましょう!
しょうがない奴だ…
おっと! そっちの方がありがたいぜ

——だが
貴様とは必ず
いつか決着を
つけてやる！
おう！
望むところだ

この二人――
なんだろう…？
一歩一歩離れるたびに
逆に近づいていくような
そんな不思議な
絆を感じる――
レティシア
ここ
おまえに
助けられて
しまったな
ありがとう
私は父より
おまえの側にいるよう
言われていたのに
父の面影を追って
飛び出した
まだ
怒っているか？

愚問だわ
あなたと同じ理由でマリオネットを飛び出した女よ！


フ…
私からマリオネット上層幹部ニッケル殿にとりなしておく
！

はいー
ピピッ
ぱっ

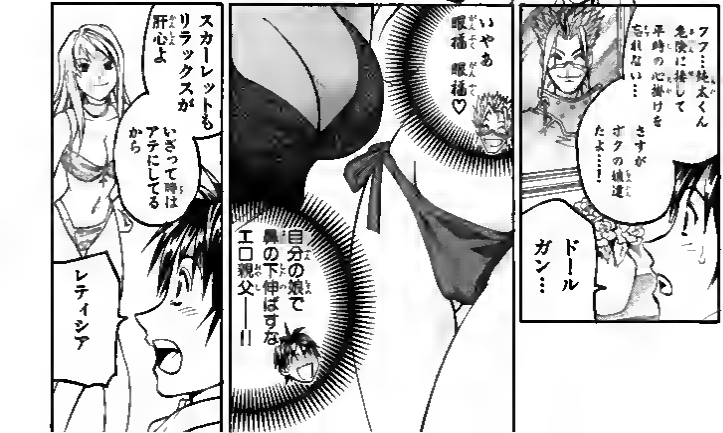
？年上レーダー
毎回貴様をやりこめたつもりでいたが…いつの間にか助けられていた
不愚鈍な奴だ
あの…ゴールド様申し訳ありません
お預かりした写真を失ってしまいました…
案ずるな！別の手段を探せばよい
それに…

別の宝を
手に入れたよう
でもあるからな
?
貴様に
とっては
また
戦ろうぜ
ワルビー!!
鈍太くんは
さわやかさん
だなぁ
まあ ボクは
ねちっこい性格
なので 彼にも
お仕置きを仕掛け
ておいたよ
せっかく
SOULFを
撃ち込んだん
だからねぇ.

第60話 魔神、跳梁する世界へ

病院を出ると
夏休みになっていた
見て見て♡
スカーレット
わっ…な!?
みんな…
それ…
どう?
この水着♡
旅の準備に
買ってきちゃった――♡
わ～～～～～っ

俺達は夏休みを利用して地中海旅行に出発する――
目的は当然カルダ島にいるというパパ・ゴールドを捜し出すことだ!!!
み…みんな！遊びに行くんじゃないんだぜ!?
あ…あたしもつい買っちゃったんだけど…
ひかるまで


フフ…純太くん急病に倒して平時の心掛けを忘れない…
さすがボクの娘達だよ……！
ドールガン…
いやぁ 眼福 眼福♡
自分の娘で鼻の下伸ばすなエロ親父――!!
スカーレットもリラックスが肝心よ
いざって時はアテにしてるから
レティシア

そうそう レティシア！
これからは普段の呼び方「スカーレット」はやめた方がイイよ
ええっ!?
だって純くんが怪盗スカーレットって事は私達だけの秘密でしょ？
あ…
う…
わ…わかったわよう
そのかわり旅の途中でパリにも寄ってもらうわ！
ジュンタを私のママに紹介する！
わ——
ママはマリオネットに顔が利くから役に立つハズよ
そっか…私も久しぶりにリオのお婆さんに会いたいな。
ママ——私には…
お姉ちゃん！イヴリアにも寄るよねっ案内してほしいな！
ひかる！
そーそー俺もガイドブック買ったけどよくわかんなくて
何冊買ってんの!?
もう！キミ達ったら
わ～～
何なに!?

パパの遺産を求めて
地球の裏側まで
やってきた――
手に入った物 逃した物
あるけど……
これはきっと
パパが私に贈ってくれた
――宝物――
天国のママにも
見えるかな？

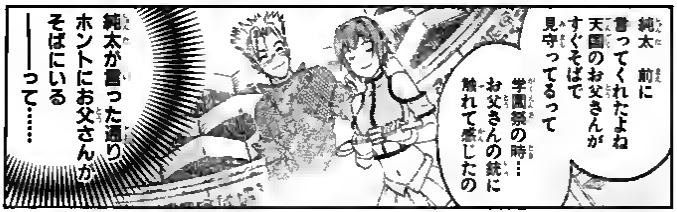
ピピ…
そーなのよ
結局――
引きとめても
ムダなのよね

それで――
ナギサ先生が
ついていく
事に…？

仕方ないわ！
…あなたも
来る？

それじゃ——
出発は
週明けの月曜
だから！
——うん
？
あっ…
なんでも
ないよ
俺
ホラ
海外って
初めてだから
キンチョー
なんちて
じー
えっと…！
じゅーんた！
どうかした？
あ…
思い出したんだ
ワルビーと戦った
時の事
俺はあいつに
もっともらしい事
言ったけど
俺なんかに
親を殺された奴の
気持ちなんて
わかるワケないなって
俺の親父——
今は出張で
いないけど
中学くらいまで
一緒だったし
寂しいなんて
思わない
そんな奴に
みんなの気持ち
わかってあげられる
のかなって…
テュッティの
寂しそうな顔見たら
そんな事を…

え!?
ちょっとおいて
気にすんな!!!


純太 前に言ってくれたよね
天国のお父さんがすぐそばで見守ってるって
学園祭の時…お父さんの銃に触れて感じたの
純太が言った通りホントにお父さんがそばにいる——って……

私は純太についていくよ
それが間違いない私の道だもん!

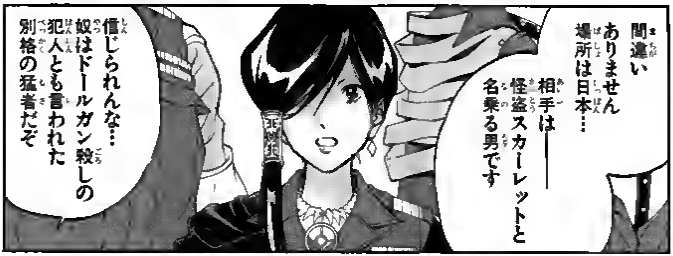
ひかる
と…とにかく
旅を楽しむ事から
始めようよ
難しい事抜きで
行こ！
「ついていく」と
言われた事から
「連れていかれてる」
俺っていったい!?
この時——
純太はまだ
知らなかった……
これから
進む世界で
待ちかまえる
闇の存在を——
中東——
戦乱によって
国連軍が介入する事に
なった最前線
…なんなんだ
この敵は!?
当方からは
丸見えだがな
！
見た事のない
軍隊だ！
地の利がある
市街戦でもまるで
敵が捕捉できない
まるで
敵が
見えないッ

我が軍の目的は
〝戦域浄化〟!!!
ガッ…
ヒャハハー
出てきやがったぜー
うあ…あ
兄さん
兄さんー
米軍でも
英軍でも
――無い!
おのれ
アメリカ
……!?
こ…

戦域の浄化完了です
当機点
ネイディ枢機卿!!
完了？
戦域浄化——
今日の戦争派遣軍においては大きな損害を出す事はタブーとなりつつある!!
それはその国の世論が許さないからだ
NO WAR!
Soldiers Peace Forestock
そのように政治的理由から正規軍の前方で最前線の敵をあらかじめ殲滅するための傭兵軍が必要となった
そのお金を負うのが彼ら——カルダ騎士団!!!
平和維持のための虐殺——
彼らの雇い主は世界に権益を持つ国家軍である

我々はカルダ騎士団!!!

何？
マリオネットの
リンドロンドが
片目を
奪われたと!?


間違い
ありません
場所は日本…
相手は――
怪盗スカーレットと
名乗る男です
信じられんな…
奴はドールガン殺しの
犯人とも言われた
別格の猛者だぞ

片目を失っては
往時の戦力は
戻るまい――
ハハハ それは
おめでとう
ございます
ネイディ卿より
強い戦士が ひとり
減ったわけですな
手合わせすれば
この私以上の戦士
だったやもしれぬ…
惜しい事だよ
フン… ネイ卿は
独断専行が
目にあまる
慢心はわしが
おさえたと
王側近には報告
させてもらおう

ネイ＝ディ
歳れだな
キミ以上の
戦士など
私には想像
できないが
そうかな？
ハネライ
世界は広いよ
そして…
私の心は
――狭い…
！
ぐッ…!?
――首が…
ネイ＝ディ!?
まさか!!
カルダ王を
利用せんとする
君側の奸め
――去れ！
ぐあ…
な…なんだ
この圧力…!?
外に…押し
出され…
いったい!?

兄さんの仇……！
バ…バカな こんな子供に!?
ボウズ
仇が討てて良かったな
あ…
少年兵は特に徹底して浄化せねばならん
悪戦の兵でも子供を殺すのは嫌なモノだ
それを正当化させて厭戦・反戦の芽を生めば戦場に生きる我々カルダ騎士団の害となる——!!
戦域浄化とは我々が戦争を統制するための〝皆殺し〟なのだ
無論——統制できるのがこの戦場だけでは効果が薄い…！世界中に我々の網をかけるために——巨大な〝資本〟と〝組織〟が必要だ!!
それを得て我々は地上の全ての戦いを支配する!!!
さあ 移動だ
バッ
次の戦場は中央アジア!!

メビラ
ダンデル
スーラマユナ
ハネライ

騎士団の未来を保証する宝を壊すため
出陣!!

それにしても
気になる…
怪盗スカーレットとは…何者だ?
世界の闇を喰らう者達が遺産に狙いをつけていた——
そんな中——
ゴールド様
ゴールド様を狙うなど断じて許せん
カルダ騎士団俺が倒す!
落ち着けワルピー
先日の連中はカルダ騎士団の中ではほんの雑兵にすぎん——
一度勝ったとて油断していればやられるぞ

ましておまえは疲れている
ヨーロッパ本部に帰還して態勢を立て直す必要があるな
よく助けに来てくれた
ぐ…
ありがとう
――だがワルビー
ゴールド様が笑顔を!!
――う!?なんだ…?
ワルビーは元にって敵を討つ際ソールフの操影術で操られた事に…
だが操影術は鬼平の例にあるようにその場だけの支配とは限らない
今――ワルビーの心の中でドールガンの魔が炸裂したー
ゴ…ゴールド様
?

ゴールド様…
す…
好きです
好きです
好き
……
好きです
好き
好きです
え
ワル…
おま
おまえ!?
え!?
な!? なんだ!? 俺…
何を言っている!?
ワルビー
おまえ…
い…いやっ!!
これは……!
そのっ……

スキを…
敵に見せぬと
申し上げて…
す……隙
——お…
そ…
そうか！
〝隙〟!!
す…すまん
一瞬…聞き
間違えて…
ガッ
お互い
疲れているな…
休みが必要だ
今のは
いったい
なんだったんだ…
俺に…
何が!!?
——それは…
誰かがこの深刻な
闇に満ちた世界に
茶々を入れているかの
ようでもあった
アーハハハ！
生意気な小僧に
やっとお仕置き
できたよ♪
ときめきを
感じた時に
それを素直に告白
してしまう暗示を
かけたのさ
およそ自分に
素直になれん
奴が騎士として
大成するわけない
赤っ恥をかいて
幸せになって
しまうがイイさ
ドールガン
何の話だ？
うふふ
別に♡
それより
純太くん
ナギサに預けられた
カルダ島行きを
決めてしまったが
本当にできるかな？
！
カルダ騎士団
とは——
世界の
闇を支配する
傭兵だ!!

純太くん
キミは――
大切な人のために
世界の悪意と
斗い抜けるかな？
！

トトト
純太――
あ！
おふくろの
声――
大変！
お父さん
帰ってきちゃった
――!!!
ええっ!?

――俺 吉武太
週明け明日から
ヨーロッパ
地中海へと
旅に出るー
ひ――
そんな俺が今日
こうして山の中
渓流釣りに来てる
のには理由がある

突然 父親が
出張から帰って
きた――!!
お――!
純太 明日
釣りに行こう
え――っ!?
いつもは断るんだけど
今日はなんとなく
引っかかる事があって
ついてきてしまった
お!
やっぱ
改めて見ると
おまえも大き~
なったよな
純太――!
たきぎ
取ってきたぞ
あ…

第61話 心の揺らぎが止まる時

商社勤めで出張がちな俺の父――

茜士郎

半年前から伸びてないよ身長！

中学くらいまでは自宅通勤だったから一緒だったけど転勤で海外の仕事が多くなった！なんでも今はまぐろ漁船を丸ごと買いつける仕事らしい…

そ…そうか？まァ噂かにそんな気もするが――

釣りに来て何聞いてんだよ？

ミュージック…フェイン

いや――最近このCDにはまってでな

どうだ！おまえの年頃ならこういうの好きだろう？

え？

UNDOUBTED

ええッ!!?

親父ッ…!?アンドールファンだったのかー!!?

アンドールはいいよー
声もカワイイけどきゃしゃな体に豊満バディ☆
ネーナちゃーーん♡
あのラインは若いコにしか出せないからね
イイ娘してー!!
ネーナファンだったのかー
俺がアンドールのマネージャーしてると知ったらどんな顔すんだろ
あーあ
アンドールみたいな娘が欲しかったよなー
そう…純太おまえが女のコだったなら…
え!?
出張のたびに外国のドレスを買ってきてあげるのに!!
ゆーんお父さまありがとう
そして更にキュートなお着なんかも買ってきてあげちゃったりして
大きくなったねー嬉がー
お父さまのエッチ♡
なんだよその妄想は
たいがいにしろ
ス…スマン
いや…男にとって女の家族は大切だって事だよ…

ハハ…おまえも
ちびすけの時は
お母さんっ子だった
親も子供も
女が嬉しいものなんだよ
ま…まあ
嬉しくない男同士
釣りに来てるのも
粋ってヤツじゃないか

おいおい
そんな娘が
欲しかったなら
姉貴か妹を
作っとけよー
お母さんっ？
そうだっけ？
そしたらもすこし
免疫とかできて
アンドール違との
付き合いも楽に
できたかも～～～
じゃないか!?

まったく…
この親父といい
ドールガンといい…
現実の親父って
しょうがない奴
ばっかりなんだよ
な～～
しまった
逃げられた
父さん ここは
餌チョン撒けじゃ
ない方がイイよ
お…おう
そうか!

あっはっは
いやあ負うた子に教わったか！
いやいや！やっぱりおまえ大きくなったよ
ハハハ
大きさとカンケーないだろ
何言ってんだよ！
でも・そうか餌の付け方とか元は父さんに教わったんだっけ…
おーい？何やってんだ
ひゃ～～～
お父さ～～ん
虫が釣り針に付いてくんないよ～～～
コラ 純太！虫も針も怖がっているから失敗するんだよ
よし——一緒にやろう
よーしいいか？
うん
ん～～～
ん～～～

できた！
あ――
お父さん！
ん？
あの頃は親父っ子だったんじゃないか？
あ…
そう…だ
ひかるには
こんな想い出もないんだよな…
――純太！
今日は…どういう風の吹きまわしだったんだ？
え？

ホラ！ いつもは釣りに誘っても断ってたじゃないか
なんか悩みでもあるんじゃないのか？
ない
ない
ない
おせっ
それはない！
ないんだけど！
ただ…
友達が…
いなくなったお父さんを捜してるんだ
ほう…そりゃあ大変だ
うん…なんか周の知り合いそういう人多いんだよね
俺自身はさみんなと違って父親って空気みたいな感じなんだよね
それでいろいろ相談に乗ったりしてるんだけど
俺みたいに親父のありがたみ実感してない奴でいいのかなって…
何ッ？
こんな俺でみんなの役に立つのかな？
ずーん
あ…！
しまった父さんを傷つけるつもりじゃなかったんだけど…
空気
どガ
純太！

おまえの言う事はもっともだ！
へ？
ヒック
ああッ!?
父さん！飲んでるッ
俺は幼い頃に両親…おまえのじいちゃんばあちゃんが離婚してな
俺は母方に引き取られ親父とは別れた
まあ親父とは会えんわけでもなかったし
寂しいなんて言えばおふくろに悪いってのもあった
そんな中で俺は親父がいなくても平気になったよ
まあ自立というか
親父とのつながりは空気のようではあったがそれで充分わかりあってた
男の人生ってのは吹き抜ける風のようである事が美学なんだよ
だとすれば父親の存在感が空気みたいってのはむしろ本望さ！
！
だから
だからな純太——

そんな
空気みたいな父親でも
いなくて恋しい
なんて人は――
ホントに
寂しい想いを抱えて
生きてるんだよ
純太
おまえは
そういう人達を
助けてやれる
男になれ!!

使命のようなモノが
純太の心の揺れを止めた——
——おかった…
——わ！しまっ…
また逃げられ…
おっと
純太！おまえそりゃあ…
あ…れ？
見え…た!?
わッ
父さん！
やっぱり見えるー
——あー
この影は!!!

父さんの
次の動き――
崩れる岩…
風の流れ…
水のしぶき…
そして
次に起こる
出来事――
一瞬の未来の影
その全てが
視える――!!

あっはっは
危なかったな
助かったよ
飲みすぎだよ
父さん！
そうだ…
心の揺らぎが
止まる時――
世界の揺らぎが
見えてくる
影視に極意が
あるとすれば
きっとこの事に
違いない――
――純太
やっぱり大きく
なったな
そうだろう？
半年前からなら
ちょっとだけ…
純太の
出発の準備は
整った…
そして――

ひかる――!!
成田国際空港
Narita Airport Terminal 1
あ!
純太!
ひかる――
もぉ～～～
遅いよっ
お純ちゃん連
お買い物に
行っちゃった
し～～～
ゴメン
ゴメン
ひぇ～
きゃ――!?
ちょ…
荷物
置きっぱなしだし
…ホラ
おーい
純…
いったい
何～～～?

アレ憶えてるって言ってたよね
お父さんがそばで見守っているって話！
うん！憶えてる

――アレ本当だぜ！
え…!?

トールガンはカルダ虐殺事件の罪を背負ってるから娘に会えないって言っていろ
でも逆に言えばトールガンの秘密を暴き真犯人を見つけ出せばあいつをひかるの前にひきずり出せるんだ!!

天国のお父さんは見守ってくれているけれど
日本にいたんじゃ会えないんだ

だから！

世界の果てに

キミのお父さんを捜しに行こう――!!

うん

出発する純太を父は見送りには来なかった…

けど既にこの旅に一番必要な何かを純太に渡していたのだった

そして

――では この写真について専門家の意見をうかがいましょう

ドイツ近代史をやっておる日岡と申します

え――

さっそくですが鬼平警視 皆さん写真の中の二人はわかると思うんですよ

レオニード・ブレジネフとエーリッヒ・ホーネッカー

旧ソ連のブレジネフ書記長と旧東ドイツのホーネッカー議長
昔の――冷戦時には「敵陣営の大ボス」として君臨し続けた人物達ですよ
この写真は1971年前後場所はクレムリン宮殿と思われます
ブレジネフが東ドイツの新指導者をある人物に会わせたところ――
その人物がコレ
旧西ドイツ外交官
バルター
オットー＝バルター
一般にはあまり知られていませんが第二次世界大戦後のドイツ外交を影で操った男です
当時の分断ドイツの統一を夢見て
その先にあるヨーロッパ統合を最初ににらんだ男とも言われます
ドイツ統一を見る事なく79年に事故死するんですが陰謀家とも慈善家とも評される味のある男です
まあ冷戦時代には面白い男がいっぱいいたんですな
今よりむしろのんびりな時代でしたよ
私らの子供の頃は月面のゴールデンで世界のスーパーヒーローなんて言葉があってね
キミの趣味の話はいい！
それよりこの写真にはどうにも理解できないところがある
なんでこんな世界史の大物が集う場に――

子供が映っているのかね?

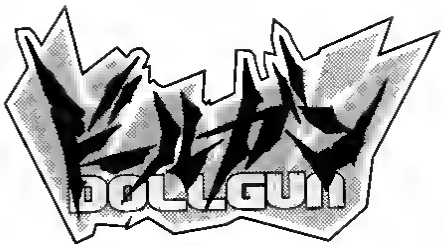
あ… いやッ これは私もよくわからない… 年齢的に符合するのは… バルターのマンフレットという妻子なんですが…
それにしたってこの場に子供がいるのは…
俺はこの少年の正体… わかりますよ
鬼平くん!?

総監！
国際警察本部へのレッドリガズラー護送の件——私にやらせてください
お！行ってくれるか
で…この少年はいったい!?
他の誰もこの写真を見ただけではわからんだろう

——だが俺だけはわかる——貴様が俺の体に刻んだ屈辱の印が俺を貴様の正体に近づけるのだ
奴はその名を名乗る以前の写真全て処分したと言われている
これは貴重な1枚です——

この少年こそドールガンだ

『ドールガン』⑦/完


ドールガン
DOLL GUN

おまけまんが

怒りの戦士☆ワルビー=カンダル
俺はワルビー
悪いからワルビー
世界への怒りに満ちたこの俺は何者も好きになりはしない!!
あったまきたぞ——!!

——あゴールドさんだ——♪
何イイ!?
好き!!
ちょ…ちょっと待って…
今のは貴様の聞きまちがいだ……
ワルビーはドールガンの撮影術でときめくと素直になる「おしおき」がかけられていた——!!

あ〜〜ん
純太〜
もう
ワルくんったら
私達の事は守って
くれるっていうのに
純クンには
素直じゃないんだから
なんだと!?
くんだとぉ
その通り
ですわ!!
もっと素直になれば
王者の星はより
大きく輝きますわ!!
うわぁ
だったら
素直になるまで
飲ましちゃえ〜♡
バカめ この俺が
この程度の酒に
など
のまれると
思うか!!!
俺の怒りは
いつだって
爆発寸前なのだ!!
わかってんのか
いやいや
めちゃくちゃ
酔ってるって
おっと 誰だ
気をつけろ

☆8巻もよろしくね☆☆

初出／週刊少年チャンピオン
2005年44号から52号まで。

〈ファンレターのあて先〉
〒102-8107
東京都千代田区飯田橋2-10-8
秋田書店　週刊少年チャンピオン編集部気付
出口竜正先生

ドールガン・シリーズ
ISBN4-253-93528-1

SHŌNEN CHAMPION COMICS

ドールガン⑦

平成18年4月10日　初版発行

著者　出口竜正
発行者　秋田貞美
発行所　㈱秋田書店
〒102-8101 東京都千代田区飯田橋2-10-8
☎編集03265-7361　販売03264-7248
製作03265-7373
振替口座　00130-0-99353
印刷所　神谷印刷株式会社

造本には十分注意しておりますが、落丁・乱丁(本のページの抜け落ちや順序の間違い)の場合は、購入された書店名を記入の上、「販売部」宛にお送りください。送料小社負担にてお取り替えいたします。但し、古書店で購入したものはお取り替えできません。

(禁/無断転載・放送・上映・上演・複写)　©R DEGUCHI 2006
Printed in Japan

ISBN4-253-20817-7